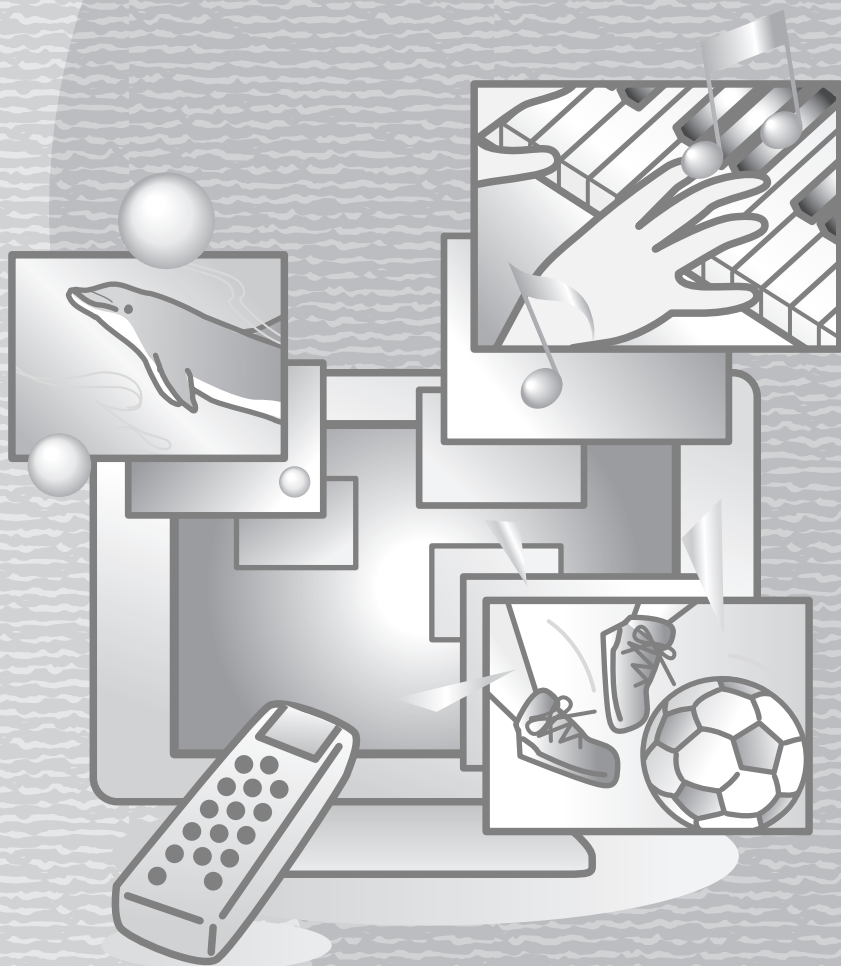
B6FH-2831-01

パソコンのOSを起動せずに、テレビやビデオを見たり、
テレビ放送をDVDに録画したり、パソコン上で
ハードディスクに録画したテレビを見たり、
音楽CDやDVD-Videoを再生したりする方法について
説明しています。

インスタントMyMedia
取扱説明書

FUJITSU

はじめに

このたびは、FMV-BIBLO（以降、本製品）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このマニュアルは、本製品に搭載された「インスタントMyMedia」の機能と操作について説明したものです。お使いになる前にこのマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2004 年 9 月

重要

・このマニュアルは、インスタント MyMedia についてのみ説明したものです。パソコン本体をお使いになるための説明や諸注意については、『パソコンの準備』および（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

使用許諾契約書

お客様が入手された本ハードウェア製品（以下「本デバイス」といいます）には、Microsoft Licensing, GP. またはその関連会社（以下「MS」といいます）から 富士通株式会社（以下「富士通」といいます）がライセンスを受けているソフトウェアが含まれています。本デバイスにインストールされているこれらの MS 製のソフトウェア製品、それに関連した媒体、印刷物（マニュアルなどの文書)、およびオンライン文書または電子文書（以下総称して「本ソフトウェア」といいます）は、知的財産に関する法律および条約によって保護されています。本ソフトウェアはライセンスされるものであり、販売されるものではありません。全ての権利は留保されています。

お客様が、この使用許諾契約書（以下「本契約書」といいます）の条項に同意されない場合、本ソフトウェアをご使用になることはできません。本ソフトウェアを使用することにより（本デバイスでの使用を含みますがそれだけに限定されません)、お客様は本契約書に同意（または以前の同意を追認）されたものとします。

ソフトウェア ライセンスの許諾

本契約書は以下のライセンスをお客様へ許諾します。

・お客様は、本デバイスにおいてのみ本ソフトウェアを使用することができます。

・本ソフトウェアは、障害が発生しても動作を続行できるフォールト トレラント性を備えていません。本デバイスにおいて本ソフトウェアをいかに使用するかは富士通が独自に決定したものです。本ソフトウェアのかかる使用への適合性を判断するにあたっての十分な検証は富士通により実施されたものであり、一切 MS の関知するところではありません。

・ハイセイフティ
本ソフトウェアは、ハイセイフティ用途での使用または販売を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、生命・身体に対し重大な危険性を伴う用途をいいます。例：原子力施設の運営、航空機飛行制御・交信システム、航空交通管制、生命維持のための医療用機器など。また、お客様がハイセイフティ用途に本デバイスまたは本ソフトウェアを使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通、MS およびそれらの関連会社は責任を負わないものとします。

・本ソフトウェアに対する無保証
本ソフトウェアは現状有姿かつ瑕疵を問わない条件で提供されています。本ソフトウェアがお客様にとっての満足できる品質、性能、正確性を有しているか、およびそのための努力（過失の不存在を含みます）に関する全ての危険は、お客様が負担しなければなりません。また、本ソフトウェアの平穏享有の妨害または権利侵害に対する保証を一切いたしません。お客様が本デバイスまたは本ソフトウェアに関する保証を受けた場合、かかる保証は MS からのものではなく、MS を拘束するものではありません。

・機能の制限
お客様は、下記の「限定機能」で特定されている機能に限ってのみ本ソフトウェアを使用するライセンスを許諾されるものです。かかるライセンスは、本ソフトウェアを他の目的で使用すること、および本デバイスに他のソフトウェアまたは機能を追加することを特に禁止しています。

・お客様は、本デバイスにおいて、本ソフトウェアを同時に 2 プロセッサを超えて使用することはできません。

・セキュリティ・アップデート
コンテンツ プロバイダーは、コンテンツの著作権を含め知的財産権が不正使用されないように、本ソフトウェアに含まれているデジタルに関する権利を管理する技術 （以下「Microsoft DRM」といいます）を使用して、コンテンツの統合性を保護しています（以下このように保護されたコンテンツを「セキュリティ保護されたコンテンツ」といいます）。かかるセキュリティ保護されたコンテンツの所有者 （以下「セキュリティ保護されたコンテンツの所有者」といいます）は、随時 MS、Microsoft Corporation （以下「マイクロソフト」といいます)、またはそれらの子会社に、本ソフトウェアの Microsoft DRM コンポーネントに対するセキュリティに関するアップデート（以下「セキュリティ アップデート」といいます）を提供するよう要請することがあります。かかるアップデートの結果、Microsoft DRM を使用するマイクロソフト ソフトウェアまたは第三者のアプリケーションを通じて、セキュリティ保護されたコンテンツを複製、表示または再生するお客様の機能に影響を与えることがあります。従って、お客様がセキュリティ保護されたコンテンツの使用を許可するライセンスを許諾されるかまたはインターネットからダウンロードされる場合、MS、マイクロソフト、またはそれらの子会社は、かかるライセンスと共に、セキュリティ保護されたコンテンツの所有者が MS、マイクロソフト、またはそれらの子会社に頒布するように要請したセキュリティ アップデートもお客様の本デバイスに適用するかまたはダウンロードする場合があることにお客様は同意されるものとします。ただし、MS、マイクロソフト、またはそれらの子会社は、かかるセキュリティ アップデートを適用するかまたはダウンロードすることにより、お客様の本デバイスからお客様を特定できる情報またはその他の情報を取得することはありません。

・ 損害に関する免責
法律で禁止される場合を除き、本ソフトウェアの使用または動作に関して生じるいかなる間接損害、特別損害、派生的損害または付随的損害に関して富士通および ＭＳ は一切責任を負いません。たとえいかなる救済手段もその実質的目的を達せない場合でも、上記の責任制限が適用されます。いかなる場合も富士通または MS の責任は、250 米ドル相当額を超えないものとします。

・ データの使用に関する承諾
お客様は、MS、マイクロソフトおよびそれらの関連会社が、本ソフトウェアに関連した製品サポートサービスの一部として集めた技術情報を収集して使用することができることを承諾されるものとします。ただし、MS、マイクロソフトおよびそれらの関連会社は、製品の向上のため、またはお客様にカスタマイズされたサービスもしくは技術を提供するためにのみ、この情報を使用できるものとします。MS、マイクロソフトおよびそれらの関連会社は、第三者にこの情報を開示できるものとしますが、その場合、お客様を特定することとなるような方法で開示しないものとします。

・ リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルの制限
お客様は、法律により明示的に認められている場合を除き、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。

・ 追加のソフトウェア / サービス
本ソフトウェアの最初のコピーをお客様が取得された後で、富士通、MS、マイクロソフトまたはそれらの関連会社によって、本ソフトウェアのアップデート、アドオン コンポーネント、またはインターネットベースのサービス コンポーネント （以下「追加コンポーネント」といいます）が、お客様に提供されるかまたは使用可能とされる場合があります。追加コンポーネントとともに別の規定がなされておらず、追加コンポーネントが富士通によって提供されるかまたは使用可能とされる場合は、かかる追加コンポーネントには本契約書（すべての無保証、損害に関する免責、ならびに責任および救済手段の制限の条項を含みますが、それらだけに限定されません））の条項が適用されます。追加コンポーネントとともに別の規定がなされておらず、追加コンポーネントが MS、マイクロソフトまたはそれらの関連会社によって提供されるかまたは使用可能とされる場合は、かかる追加コンポーネントには本契約書の条項が適用されます。ただし、その場合の本契約書では、「富士通」に代わって、追加コンポーネントを提供している MS、マイクロソフトまたはそれらの関連会社がかかる追加コンポーネントに関する許諾者となります。本ソフトウェアの使用によりお客様に提供されるかまたは使用可能とされるインターネット ベースのサービスを中止する権利は、富士通、MS、マイクロソフトおよびそれらの関連会社によって留保されます。本ソフトウェアに Windows Media Format Software Development Kit （以下「WMFSDK」といいます）コンポーネントが含まれている場合、本契約書は、お客様に WMFSDK コンポーネントを使用して Windows Media 技術を使用するソフトウェア アプリケーションを開発する権利を許諾するものではありません。WMFSDK を使用してかかるアプリケーションを開発される場合は、http://msdn.microsoft.com/workshop/imedia/windowsmedia/sdk/wmsdk.asp で WMFSDK に関する別途のライセンスを承諾して適切な WMFSDK をダウンロードし、お客様のシステムにインストールしてください。

・ リカバリ メディア
本ソフトウェアが、本デバイスとは別に、富士通からリカバリ メディアを提供されている場合、お客様は、かかる Recovery Media を使用して、本デバイスに既にインストールされている本ソフトウェアを復元もしくは再インストールすることができます。

・ ソフトウェアの譲渡
お客様は、本デバイスの売却または譲渡の一部としてのみ本契約書に基づくお客様のすべての権利を恒久的に譲渡することができます。ただしその場合、譲受人が本契約書の条項に同意することを条件とします。本ソフトウェアがアップグレードである場合、譲渡は本ソフトウェアの以前のバージョンも全て含んだものでなければなりません。

・ 輸出規制
お客様は、本ソフトウェアがアメリカ合衆国および日本国の輸出に関する規制の対象となることを認めるものとします。お客様は、本ソフトウェアに適用されるすべての国内法および国際法（アメリカ合衆国の輸出管理規則ならびにアメリカ合衆国、日本国およびその他の政府機関によるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用、および輸出対象国に関する制限を含みます）を遵守することに同意されたものとします。詳細については http://www.microsoft.com/exporting/ をご参照ください。

・ 限定機能
本ソフトウェアは、本デバイスにおける「インスタント MyMedia」の仕様のために、合理的に要求される機能のみをサポートするものです。「インスタント MyMedia」の仕様に関しては、本デバイスに同梱されている「インスタント MyMedia 取扱説明書」をご参照ください。その他のアプリケーションまたは機能（ビジネス ユースのアプリケーション、ウェブ ブラウジング、その他パーソナル コンピュータのアプリケーションおよび機能を含みますが、それらだけに限定されません）により本ソフトウェアを使用すること、または本ソフトウェアにそれらのアプリケーションまたは機能をサポートさせることはできません。

「インスタント MyMedia」について

本製品には「インスタント MyMedia」が搭載されており、パソコンを起動しなくても以下のようなことを手軽に楽しむことができます。

■テレビモード

・テレビ放送を見る
・テレビ放送を DVD-RAM に録画する
・ビデオなどの再生機器を接続して映像を見る
・BS/CS チューナーを接続して衛星放送を見る

■DVD/CD モード

・音楽 CD を再生する
・市販の DVD-Video を再生する
・DVD に録画したテレビを再生する

■ビデオ再生モード

・パソコンで録画したテレビやビデオを再生する
・パソコンに保存した映像を再生する

重要

・インスタントMyMediaでは、次に示すような使い方はできません。これらの使い方をしたい場合には、『パソコンの準備』をご覧になり、パソコンを起動してください。
  ・タイムシフト機能を使ってテレビ放送を見る
  ・テレビ放送をパソコンの HDD に録画する
  ・電子番組表を使う
  ・テレビ放送を予約録画する
  ・DVD-RAM に録画したテレビを編集する
  ・文書を作成する、メールを読む、インターネットに接続する
  ・IEEE1394（DV）端子や USB 端子に接続した機器を使用する
  ・SD カード／メモリースティックを使用する
  ・外部ディスプレイコネクタ、およびビデオ出力（S ビデオ）端子から映像を出力する
  →『テレビを見る・録る・残すガイド』
  →（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」
・パソコン上でテレビの予約録画を設定している場合、その時間にインスタント MyMedia を使用していると予約設定は無効になります。
  →『テレビを見る・録る・残すガイド』
・インスタント MyMedia を使用中は、マウスやプリンタ、USB 機器などの周辺機器を取り付けたり、取り外したりしないでください。

本書の表記について

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、インスタントMyMediaを安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
インスタントMyMediaをお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。
また、添付の『パソコンの準備』をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルおよび『パソコンの準備』は、インスタントMyMediaの使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お住まいの地域やお使いになるケーブルの種類などによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	知っていると便利なことを記述しています。必要に応じてお読みください。
••▶	参照先を記述しています。
	ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。
	CD-ROM/DVD-ROM を表しています。
	サービスアシスタントを表しています。次の操作で起動できます。 ・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル&サポート）」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル&サポート）」の順にクリック

製品の呼びかたについて

このマニュアルでは製品名称を、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows XP
Microsoft® Windows® XP Embedded	Windows XP Embedded
富士通サービスアシスタント V3.0	サービスアシスタント
外部デジタルチューナー、BS/CS/CATV チューナー、ケーブルテレビ会社用のホームターミナルなど	セットトップボックス

著作権について

著作権について

本製品で録画・録音したものを、無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、インターネット配信、レンタル（有償・無償を問わず）することは、法律により禁止されています。

コピーガードについて

「インスタント MyMedia」はコピーガード機能として、マクロビジョン方式、CGMS-A 方式に対応しています。

市販、レンタル、放送などのコンテンツ（映画やドラマなど）のうち著作権保護されているものや、一部のビデオ機器のメニュー画面や操作画面等でコピーガード機能が働いているものは、録画することはできません。

また、コピーガード機能（マクロビジョン方式、CGMS-A 方式）に対応していない機器で録画した映像を入力した場合や、劣化したビデオテープの映像を入力した場合、電波受信状況が良くない場合、コピーガード情報として検出され、映像の録画ができないことがあります。

BS/CS デジタル放送や地上デジタル放送、またはケーブルテレビに含まれるデジタル放送など、デジタル放送受信機器で受信する番組には、コピーガード機能が働いている場合があります。

これらのデジタル放送受信機器から映像を入力する際に、コピーガード機能が働いている番組の映像をインスタント MyMedia で DVD に録画することはできません。

目次

第 5 章　CD/DVD を再生する

第 6 章　画面設定を調節する

第 7 章　こんなときは

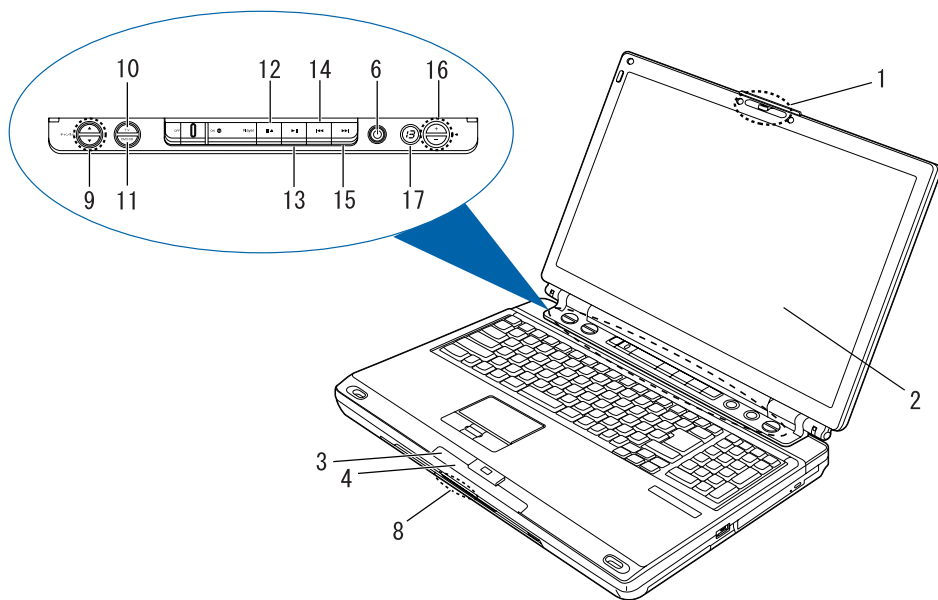
第 8 章　付録

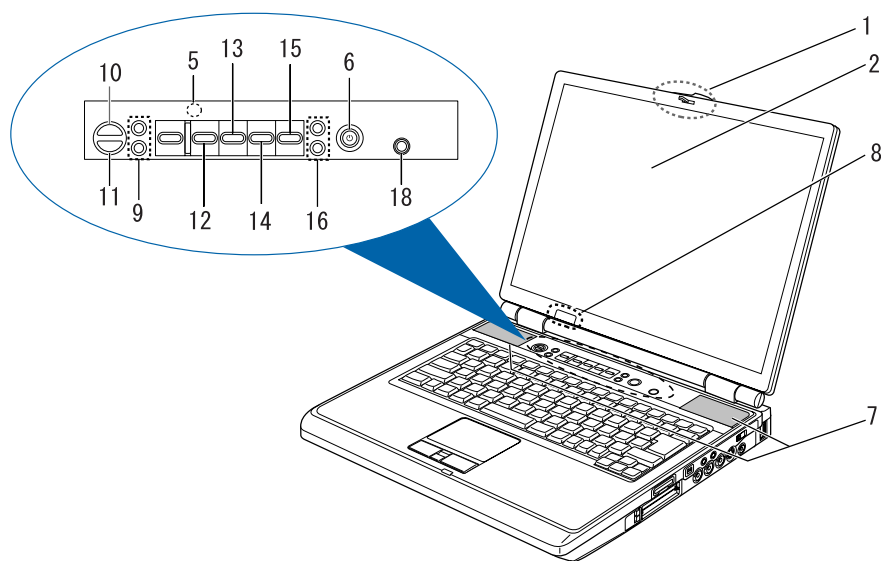
第 1 章

お使いになる前に

インスタント MyMedia を使用するために必要な準備や、お使いになる上で知っておいていただきたいことなどについて説明しています。

1　各部の名称と働き

パソコン本体前面

NX シリーズ

（イラストはお使いのモデルにより若干異なります）

NB シリーズ

（イラストはお使いのモデルにより若干異なります）

1

1 ラッチ

液晶ディスプレイが不用意に開かないようにロックします。
液晶ディスプレイを開く時は、右にスライドしてロックを外します。

2 液晶ディスプレイ

テレビやビデオ、DVD などの画面を表示します。

3 電源ランプ（⏻）（NX シリーズのみ）

インスタント MyMedia が起動しているとき、またはパソコンの電源が入っているときに緑色に点灯します。

4 CD アクセスランプ（　）（NX シリーズのみ）

CD や DVD などにアクセスしているときに点灯します。

5 ハードディスク／CD アクセスランプ（　）（NB シリーズのみ）

CD や DVD、ハードディスクなどにアクセスしているときに点灯します。

6 電源ボタン

パソコン本体の電源を入れたり、スタンバイ（中断）／レジューム（回復）させるためのボタンです。
NB シリーズをお使いの場合、インスタント MyMedia が起動しているとき、またはパソコンの電源が入っているときに、電源ボタンの周囲が青色に点灯します。

7 スピーカー

テレビやビデオ、DVD などの音声を出力します。

重要

音量は、スピーカーから聞こえる音が歪まない範囲で調節してください。スピーカーが故障する原因となることがあります。

8 リモコン受光部

リモコン用の赤外線受光部です。
通信中は受光部に触れないでください。通信性能が低下する場合があります。
また、赤外線受光部に太陽光線や強い光などを直接当てないでください。誤動作を起こしたり、通信距離が短くなる原因となります。

9 チャンネルボタン

テレビモード時にチャンネルを切り換えます。

10 TV ボタン

本製品の電源が切れている時に押すと、インスタント MyMedia が起動し、自動的にテレビモードに切り換わります。
DVD/CD モードおよびビデオ再生モードで押すと、テレビモードに切り換わります。

11 DVD/CD ボタン

本製品の電源が切れている時に押すと、インスタント MyMedia が起動し、自動的に DVD/CD モードに切り換わります。
テレビモードおよびビデオ再生モードで押すと、DVD/CD モードに切り換わります。

12 ■⏏停止／取り出しボタン

テレビモードで DVD への録画中、および DVD/CD モードで音楽 CD や DVD-Video を再生中に押すと、録画／再生が停止します。停止中にもう一度押すとトレーが少し飛び出し、ディスクを取り出せるようになります。
ビデオ再生モードでハードディスク内のビデオを再生中に押すと再生が停止し、再生可能なビデオのリストに戻ります。

13 ►II 再生／一時停止ボタン

DVD/CD モードおよびビデオ再生モードで、再生停止中または一時停止中に押すと、再生を開始します。再生中に押すと、再生を一時停止します。

14 I◄◄ 逆スキップボタン（NX シリーズの場合）
戻しボタン（NB シリーズの場合）

DVD/CD モードで音楽 CD や DVD-Video を再生中に押すと、曲やチャプター（章）の開始直後であれば 1 つ前の曲やチャプターに、それ以外の場合は再生中の曲やチャプターの先頭に再生位置が戻ります。

15 ►►I 順スキップボタン（NX シリーズの場合）
送りボタン（NB シリーズの場合）

DVD/CD モードで音楽 CD や DVD-Video を再生中に押すと、次の曲やチャプター（章）に再生位置が進みます。

16 音量調節ボタン

視聴・再生中に音量を調節します。上側のボタンを押すと大きく、下側のボタンを押すと小さくなります。

17 音量表示（NX シリーズのみ）

現在の音量設定を数値で表示します。

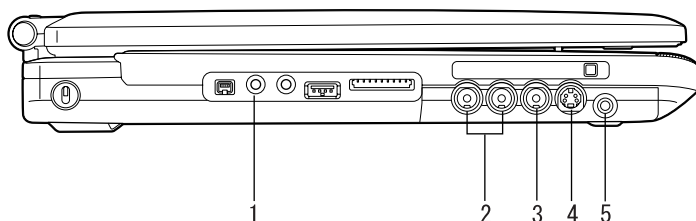
18 あざやかボタン（NB シリーズのみ）

ボタンを押すことで、液晶ディスプレイの輝度を最大にしたり、パソコン上で設定した輝度に戻したりすることができます。

パソコン上で液晶ディスプレイの輝度を最大に設定している場合、あざやかボタンを押しても輝度は変化しません。

パソコン本体側面

NX シリーズの場合

■左側面

（イラストはお使いのモデルにより若干異なります）

1 ヘッドホン端子

市販のヘッドホンを接続するための端子です。

注意

聴力障害

・ヘッドホンをお使いになるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間お使いになると、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

聴力障害

・ヘッドホンをしたままパソコンまたはテレビの電源を入れたり切ったりしないでください。
刺激音により聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

2 ビデオ音声入力端子

ビデオデッキやセットトップボックスなどの外部機器の音声出力を接続するための端子です。

3 ビデオ入力（コンポジット）端子

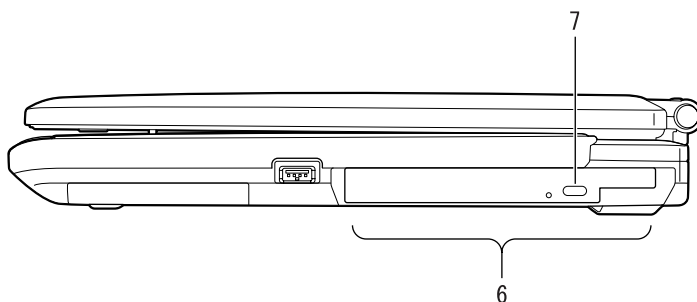
外部映像機器の映像出力端子と接続します。
この端子に接続した機器からの映像は、「コンポジット」入力選択時に表示されます。

4 ビデオ入力（S ビデオ）端子

外部映像機器の S ビデオ映像出力端子と接続します。
この端子に接続した機器からの映像は、「S-Video」入力選択時に表示されます。

5 アンテナ入力（ミニジャック）端子

添付の RF 変換ケーブルを使用して、テレビアンテナを接続するための端子です。

■右側面

（イラストはお使いのモデルにより若干異なります）

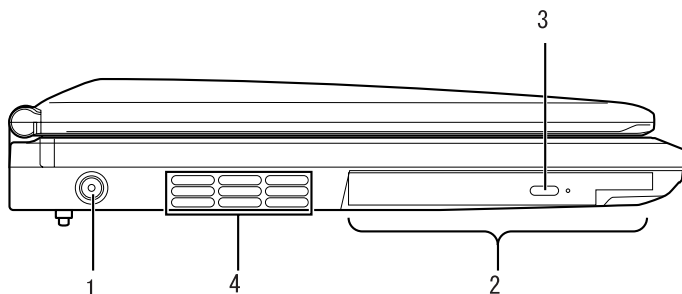
6 スーパーマルチドライブ

音楽CDやDVD-Videoを再生するとき、およびDVD-RAMにテレビ放送を録画するときに使います

7 CD 取り出しボタン

スーパーマルチドライブにディスクをセットしたり、取り出すときに押します。本製品の電源が入っているときに使えます。

NB シリーズの場合

■左側面

（イラストはお使いのモデルにより若干異なります）

1 DC-IN コネクタ

添付の AC アダプタを接続するためのコネクタです。

2 スーパーマルチドライブ

音楽CDやDVD-Videoを再生するとき、およびDVD-RAMにテレビ放送を録画するときに使います

3 CD 取り出しボタン

スーパーマルチドライブにディスクをセットしたり、取り出すときに押します。本製品の電源が入っているときに使えます。

4 排気孔

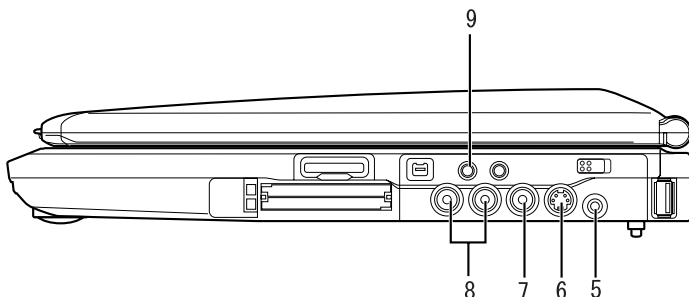
本製品内部の熱を外部に逃がすためのものです。

⚠注意

・排気孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。

重要

排気孔からは熱風が出ます。排気孔付近には手を触れないでください。
排気孔の近くに物を置かないでください。排気孔からの熱で、排気孔の近くに置かれたものが熱くなることがあります。

■右側面

（イラストはお使いのモデルにより若干異なります）

5 アンテナ入力（ミニジャック）端子

添付の RF 変換ケーブルを使用して、テレビアンテナを接続するための端子です。

6 ビデオ入力（S ビデオ）端子

外部映像機器の S ビデオ映像出力端子と接続します。
この端子に接続した機器からの映像は、「S-Video」入力選択時に表示されます。

7 ビデオ入力（コンポジット）端子

外部映像機器の映像出力端子と接続します。
この端子に接続した機器からの映像は、「コンポジット」入力選択時に表示されます。

8 ビデオ音声入力端子

ビデオデッキ、セットトップボックスなどの外部機器の音声出力を接続するための端子です。

9 ヘッドホン端子

市販のヘッドホンを接続するための端子です。

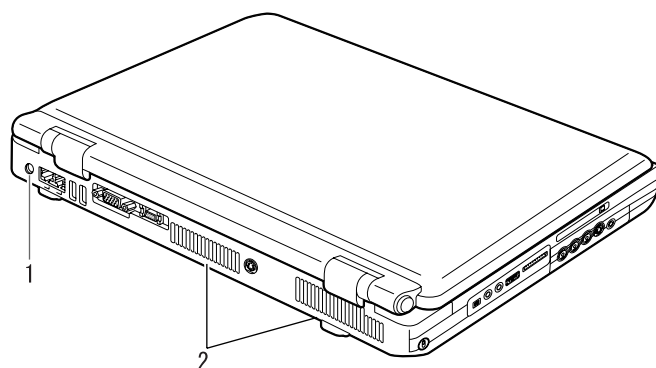
⚠注意

聴力障害
・ヘッドホンをお使いになるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間お使いになると、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

聴力障害
・ヘッドホンをしたままパソコンまたはテレビの電源を入れたり切ったりしないでください。
刺激音により聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

POINT

・ヘッドホンを接続している間は、スピーカーから音が出ません。スピーカーから音を出力する場合は、ヘッドホンを抜いてください。
・形状によっては接続できないものがあります。ご購入前に確認してください。

パソコン本体背面

NX シリーズ

（イラストはお使いのモデルにより若干異なります）

POINT

NB シリーズをお使いの場合、パソコン本体背面にはインスタント MyMedia で使用する箇所はありません。

1 DC-IN コネクタ

添付の AC アダプタを接続するためのコネクタです。

2 吸気口

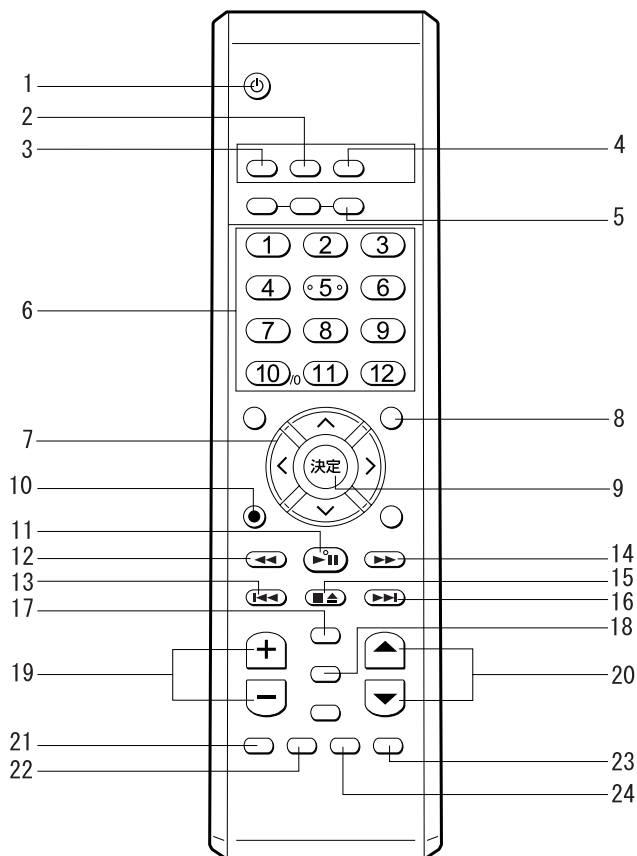
空冷用ファンが空気を取り込むための穴です。

⚠注意

・吸気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。

リモコン

重要

・ここではインスタント MyMedia を使用する際に操作するボタンについてのみ説明します。
その他のボタンの働き、乾電池の入れ方、リモコン使用時の注意点については、パソコン本体の『パソコンの準備』→「第５章　周辺機器の設置／設定／増設」→「４．リモコンについて」または（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「７．パソコン本体の取り扱い」→「リモコン」→「リモコンについて」をご覧ください。
・リモコンの操作を連続で行なうと、正常に認識されない場合があります。リモコンで連続して操作する場合は、１秒以上の間隔を空けて操作してください。

1 パソコン電源ボタン

インスタント MyMedia が起動しているときに押すと、インスタント MyMedia を終了し、パソコンの電源を切ります。

2 DVD ボタン

本製品の電源が切れている状態で押すと、インスタント MyMedia が起動し、自動的に DVD/CD モードとなります。
テレビモードまたはビデオ再生モードのときに押すと、DVD/CD モードに切り換わります。

3 MyMedia ボタン
本製品の電源が切れている状態で押すと、インスタント MyMedia が起動し、メインメニューが表示されます。

テレビモード、DVD/CD モード、ビデオ再生モードの各モードのときに押すと、メインメニューに戻ります。

4 TV ボタン
本製品の電源が切れている状態で押すと、インスタント MyMedia が起動し、自動的にテレビモードとなります。

DVD/CD モードまたはビデオ再生モードのときに押すと、テレビモードに切り換わります。

5 録画番組ボタン
テレビモードまたは DVD/CD モードのときに押すと、ビデオ再生モードに切り換わります。

6 ①-⑫ボタン
テレビモードのときに押すと、1 ～ 12 のテレビチャンネルを直接選択することができます。

DVD/CD モードのときに押すと、押した番号のチャプター（章）に再生位置を移動することができます。

7 （上カーソル）ボタン
（右カーソル）ボタン
（下カーソル）ボタン
（左カーソル）ボタン
メインメニューでのモード選択、ビデオ再生モードでの再生ファイル選択、およびメニュー画面での項目の選択や値の調整などに使います

8 メニューボタン
テレビモードおよび DVD/CD モードでメニュー画面を表示するときに使います。

9 決定ボタン
メインメニューや各モードのメニュー画面で、選択肢や値を決定するときに使います。

10 録画ボタン
テレビモードで押すと、DVD への録画を開始します。

11 再生／一時停止ボタン
DVD/CD モードおよびビデオ再生モードで押すと、映像や音声の再生を開始します。

再生中に押すと、一時停止します。

12 巻戻しボタン
DVD/CD モードおよびビデオ再生モードで押すと、再生中の映像や音声を巻き戻します。繰り返し押すと、4 段階に巻き戻し速度を変更することができます。

13 逆スキップボタン
DVD/CD モードで押すと、曲またはチャプター（章）の開始直後に押した場合は 1 つ前の曲またはチャプターを、それ以外の場合は再生中の曲をもう一度先頭から再生します。

14 早送りボタン
DVD/CD モードおよびビデオ再生モードで押すと、再生中の映像や音声を早送りします。繰り返し押すと、4 段階に早送り速度を変更することができます。

15 停止／取り出しボタン
テレビモードで DVD に録画中、および DVD/CD モードで再生中に押すと、録画／再生を停止します。停止中に押すと、トレーが少し飛び出し、ディスクを取り出せるようになります。

ビデオ再生モードで映像を再生中に押すと、再生を停止し、再生可能なファイルのリストに戻ります。

16 順スキップボタン

DVD/CD モードで再生中に押すと、次の曲またはチャプター（章）を再生します。

17 入力切換 入力切換ボタン

テレビモードのときに押すと、画面に表示する入力信号を切り換えます。

ボタンを押すたびに、テレビ（TV）→ S ビデオ入力（S-Video）→ビデオ入力（コンポジット）の順に切り換わります。

18 音声切換 音声切換ボタン

テレビモードで音声多重放送を視聴しているとき、または DVD/CD モードで複数の音声が記録された DVD-Video を再生しているときに押すと、出力される音声が切り換わります。

19 音量ボタン（音量（+）／音量（−））ボタン）

音量を調節します。+ボタンを押すと大きく、−ボタンを押すと小さくなります。

20 チャンネル／ページボタン（▲／▼ボタン）

テレビモードでテレビ放送を視聴しているときに押すと、テレビのチャンネルを切り換えます。

21 消音 消音ボタン

音声を一時的に消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

22 表示 表示ボタン

テレビモードのときに押すと、現在のチャンネルや音声などを表示します。

23 アングル アングルボタン

DVD/CD モードで複数のアングルが設定された DVD を再生しているときに押すと、アングルが切り換わります。

24 字幕 字幕ボタン

DVD/CD モードで複数の字幕が設定された DVD を再生しているときに押すと、表示される字幕が切り換わります。

2 接続

アンテナケーブル、AC アダプタを接続する

インスタント MyMedia をご使用になる前に、本製品にアンテナケーブルおよび AC アダプタを接続する必要があります。
アンテナケーブルおよび AC アダプタの接続方法については、『パソコンの準備』の「接続する」をご覧ください。

重要

全ての接続が終了するまで、本製品の電源を入れないでください。

POINT

ビデオデッキ、セットトップボックスなどの外部映像機器を接続する場合は、「外部映像機器を接続する」（••▶ P.39）をご覧ください。

リモコンを準備する

インスタント MyMedia では、多くの操作を添付のリモコンを用いて行ないます。
インスタント MyMedia をご使用になる前に、『パソコンの準備』の「第５章　周辺機器の設置／設定／増設」→「４．リモコンについて」をご覧になり、リモコンを準備してください。

3 セットアップを行う

お買い上げ後初めてインスタント MyMedia をご使用になる場合、インスタント MyMedia を起動すると自動的にセットアップが始まります。以下の手順にしたがってセットアップを完了してください。

重要

- セットアップ中は、下記手順以外の操作を行わないでください。
  インスタント MyMedia が起動しなくなる場合があります。
  もしインスタント MyMedia が起動しなくなったときは、「こんなときは」（P.84）をご覧ください。
- リモコンは、リモコン受光部に向けて操作してください。

注意

聴力障害

- 予想外の音量が発生することがありますのでご注意ください。
  ヘッドホンをご使用の場合、以降の操作を行なう時は、ヘッドホンを外してください。

1 リモコンの MyMediaボタンを押します。

セットアップが始まります。

重要

- パソコンの終了時に強制終了を行っていた場合、リモコンでインスタント MyMedia を起動することができません。この場合は一度パソコンを起動し、正しい終了操作を行なってからやり直してください。
  『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「電源の切り方と入れ方」

2 自動的に終了するまで待ちます。

セットアップの進行状況に応じて何度か画面が切り換わった後、自動的にインスタント MyMedia が終了します。
画面が真っ暗になった後、電源ランプ（NB シリーズをお使いの場合は、電源ボタン周囲の点灯表示）が消えているのを確認して次に進んでください。

3 リモコンの MyMediaボタンを押します。

セットアップの後半部分が始まります。

4 自動的に終了するまで待ちます。

セットアップが完了すると、自動的にインスタント MyMedia が終了します。
画面が真っ暗になった後、電源ランプ（NB シリーズをお使いの場合は、電源ボタン周囲の点灯表示）が消えているのを確認してください。

5 リモコンの MyMedia ボタンを押します。

インスタント MyMedia のメインメニューが表示されます。

これでセットアップは完了です。引き続き、チャンネルの検出を行なってください。
「チャンネルの設定」（P.22）

4 チャンネルの設定

チャンネルを検出する

放送電波を検出して、チャンネルの自動設定を行います。

⚠注意

聴力障害

・予想外の音量が発生することがありますのでご注意ください。
　ヘッドホンをご使用の場合、以降の操作を行なう時は、ヘッドホンを外してください。

POINT

・チャンネルの設定は、放送のある時間帯に行ってください。
・CATV の受信は、サービス（放送）の行われている地域のみ可能です。CATV を受信するときは、使用する機器ごとに CATV 会社との受信契約が必要です。さらに有料放送などスクランブルがかかった放送の視聴・録画には、セットトップボックスが必要になります。詳しくは、サービスを行っている CATV 会社へご相談ください。
・インスタントMyMediaで設定したチャンネルはインスタントMyMediaのみ、パソコン上の「TVfunSTUDIO」で設定したチャンネルは「TVfunSTUDIO」のみでお使いになれます。インスタント MyMedia と「TVfunSTUDIO」のそれぞれ両方でチャンネル設定を行ってください。
『テレビを見る・録る・残すガイド』→「第２章　準備をする」→「３．チャンネルを設定する」

1 **MyMedia ボタンを押して、インスタント MyMedia のメインメニューを表示します。**

2 **ボタンで「テレビ」を選択し、決定ボタンを押します。**

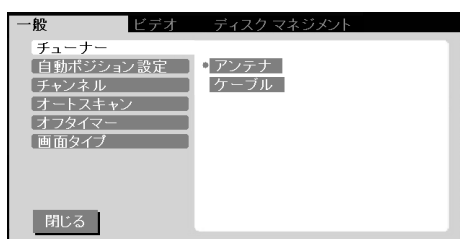
テレビモードになります。

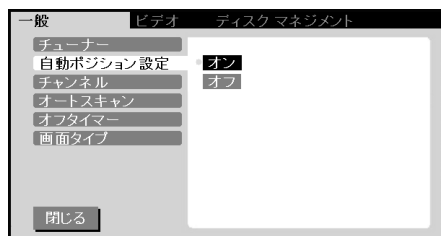
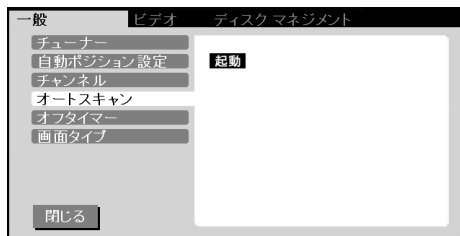
3 **メニューボタンを押して、メニュー画面を表示します。**

4 本製品をVHF/UHFアンテナと接続した場合には「アンテナ」を、CATVと接続した場合には「ケーブル」を ／ ボタンで選択し、決定 決定ボタンを押します。

VHF/UHF の場合

CATV の場合

5 メニュー メニューボタンを押してもう一度メニュー画面を表示し、 ボタンを押します。

POINT

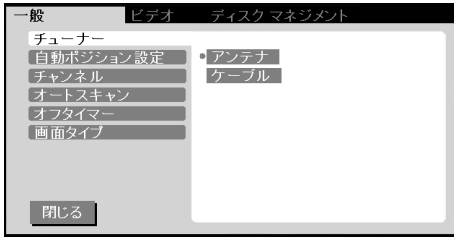
放送局の無いチャンネルに自動的に放送局を割り振るには、「自動ポジション設定」を「オン」に設定してください。

6 ／ ボタンで「オートスキャン」を選択し、 ボタンを押します。

7 決定 決定ボタンを押すとチャンネルの検出を開始します。

チャンネルサーチ中は、次々に表示されるチャンネルが切り換わります。
チャンネルサーチには、しばらく時間がかかる場合があります。

電波の受信状態が悪い場合、チャンネルサーチを行うごとに検出結果が異なることがあります。

チャンネルのスキップを設定する

検出したチャンネルそれぞれについて、リモコンの▲／▼ボタンおよびパソコン本体のチャンネルボタンでチャンネルを切り換えた時に表示するかどうかを設定することができます。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示し、〈 ボタンを押します。

2 ︿／﹀ボタンで「チャンネル」を選択し、〉ボタンを押します。

左側に○の付いているチャンネルが、現在スキップしないように設定されているチャンネルです。

3 ︿／﹀ボタンでスキップしたいチャンネルを選択し、決定ボタンを押します。

選択したチャンネルの○が消え、スキップするように設定されます。
もう一度決定ボタンを押すと○がつき、スキップしないように設定されます。

POINT

・1 ～ 12 チャンネルについては、ここでスキップをするように設定しても、リモコンの 1 - 12 ボタンで直接切り換えることができます。

4 設定を変更したいすべてのチャンネルについて、手順 3 を繰り返します。

5 **◁ボタンを押し、△／▽ボタンで「閉じる」を選択して決定決定ボタンを押します。**

メニュー画面が消去されます。

5 インスタントMyMediaの起動／終了

インスタント MyMedia を起動する

重要

放送の無いチャンネルが選択された場合、予想外の音量が発生することがありますのでご注意ください。
ヘッドホンをご使用の場合、聴力に悪影響を与える原因となることがありますので、安全のためインスタント MyMedia 起動時にはヘッドホンを外してください。

1 リモコンの MyMedia ボタンを押します。

インスタント MyMedia のメインメニューが表示されます。

2 ／ ボタンでご使用になりたい機能を選択し、 決定ボタンを押します。

■ テレビモード（テレビ）

テレビ放送を見ることができます。
また、見ているテレビ番組をそのまま DVD に録画したり、ビデオデッキやセットトップボックスなどの外部機器を接続して映像を見たりすることができます。

■ DVD/CD モード（DVD/CD）

音楽 CD や DVD-Video ソフトを再生することができます。

重要

VideoCD ソフトを再生することはできません。

■ ビデオ再生モード（ビデオ再生）

パソコン上の「TVfunSTUDIO」で録画したテレビ番組や、「マイビデオ」フォルダおよび「共有ビデオ」フォルダに保存したビデオを再生することができます。

■パソコン起動

インスタント MyMedia を終了してパソコンを起動します。

■電源オフ

インスタント MyMedia を終了し、本製品の電源を切ります。

ボタン 1 つで起動する

本製品の電源が切れている時にリモコンの TV ボタン、またはパソコン本体の TV ボタンを押すと、ボタン 1 つでインスタント MyMedia を起動してテレビモードにすることができます。

また、本製品の電源が切れている時にリモコンの DVD ボタン、またはパソコン本体の DVD/CD ボタンを押すと、ボタン 1 つでインスタント MyMedia を起動して DVD/CD モードにすることができます。

重要

インスタント MyMedia のメインメニューを表示しているときは、リモコンの ⊕／⊖ボタン、消音ボタン、およびパソコン本体の音量調節ボタン

POINT

パソコンを使用中は、インスタント MyMedia を起動することはできません。

インスタント MyMedia を終了する

1 **MyMedia ボタンを押して、メインメニューを表示します。**

2 **／ボタンで「電源オフ」を選択し、決定ボタンを押します。**

インスタント MyMedia が終了し、本製品の電源が切れます。

POINT

パソコン電源 パソコン電源ボタンを押すことでも、インスタント MyMedia を終了して本製品の電源を切ることができます。

6 ディスクの取り扱いについて

使用できるディスク

インスタント MyMedia では、以下のディスクを使用することができます。

ディスクの種類	再生[注3]	録画
音楽 CD	○	×
CD-R	×	×
CD-RW	×	×
DVD-Video	○[注4]	×
DVD-Audio	×	×
DVD-R（4.7G）[注1]	○	×
DVD-RW	○	×
DVD+R	×	×
DVD+RW	○	×
DVD-RAM[注2]	○	○[注5]

注 1：容量 3.95GB の DVD-R は使用できません。

注 2：Type1 のディスク（カートリッジ有、取り出し不可）には対応していません。

注 3：ディスクによっては、ご使用になれない場合があります。

注 4：DVD-Video は、地域コードがインスタント MyMedia の設定と同じ値（初期値は「2」）または「ALL」のものがご使用になれます。

注 5：録画した DVD を他の DVD 機器で再生する場合、お使いの DVD 機器によっては再生できない場合があります。

・本製品に使用するディスクは、以下のものを推奨します。

DVD-RAM

松下電器　：LM-HC47、LM-HC47L（4.7GB、カートリッジ無）
LM-HB47、LM-HB47L（4.7GB、カートリッジ有、取り出し可）
LM-HB94、LM-HB94L（9.4GB、カートリッジ有、取り出し可）

重要

・上記以外のディスクをお使いの場合、正常に録画ができない場合があります。
・カートリッジに入れた状態で使用するタイプの DVD-RAM ディスク（Type1）は使用できません。カートリッジなしタイプ（Type4）、またはカートリッジからディスクが取り出せるタイプ（Type2）をご購入ください。
Type1 のディスクを無理に取り出して使用することはおやめください。
・ディスクをお使いになるときは、次の点に注意してください。
  ・ケースから取り出すときやパソコンにセットするときなど、ディスクは両面とも触れないようにしてください。
  ・ディスクは両面とも指紋やほこり、傷などをつけないでください。
  ・ディスクは両面ともラベルを貼ったり、ボールペンや鉛筆などで字を書いたりしないでください。
  ・曲げたり、重いものを載せたりしないでください。

- ・汚れたり、水滴がついたりしたときは、少し湿らせた布で中央から外側に向かって拭いた後、乾いた布で拭き取ってください。
  シリコンクロスは使用しないでください。ヘアードライヤーなどで乾燥させたり自然乾燥をさせないでください。
  ベンジン、シンナー、レコードスプレー、静電気防止剤などで拭かないでください。
- ・コーヒーなどの液体がかからないようにしてください。
- ・高温や低温の場所に保管しないでください。
- ・湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- ・使わないときは、ケースに入れて保管してください。

・円形以外（星型やカード型などの変形）のディスクはお使いにならないでください。正常に読み出しや書き込みが行えなかったり、故障の原因となる場合があります。
・傷またはヒビの入ったディスクをお使いになると、ドライブ内部で破損する場合があります。
・ゆがんだディスク、割れたディスク、ヒビの入ったディスクはお使いにならないでください。故障の原因となることがあります。これらのディスクをお使いになり故障した場合は、保証の対象外になります。
・規格外の厚さの DVD 媒体はお使いにならないでください。DVD 規格では媒体の厚さを 1.14mm ～ 1.5mm と規定しています。記録面が薄い媒体など、一部でもこの範囲外の厚さになっている媒体をお使いになると故障する場合があります。規格外の DVD 媒体をお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。
・コピーコントロール CD については、現状の音楽 CD の規格に準拠していない特殊なディスクのため、本パソコンでの再生および動作保証はできません。コピーコントロール CD のご使用中に不具合が生じた場合は、各コピーコントロール CD の発売元にお問い合わせください。なお、正式な音楽 CD 規格に準拠した CD には、次のようなロゴが表示されています。

POINT

不正コピー防止の仕様に準拠していない DVD ディスクは、正常に再生できない場合があります。

ディスクをセットする

1 **MyMedia MyMediaボタンを押して、インスタントMyMediaのメインメニューを表示します。**

重要

ディスクのセットは、インスタント MyMedia のメインメニューを表示している状態で行なってください。

2 **■⏏停止／取り出しボタン、またはパソコン本体の■⏏停止／取り出しボタンを押します。**

トレーが少し飛び出します。

POINT

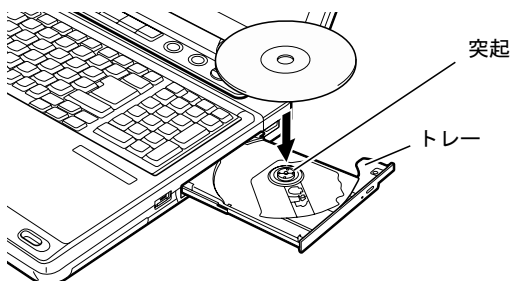
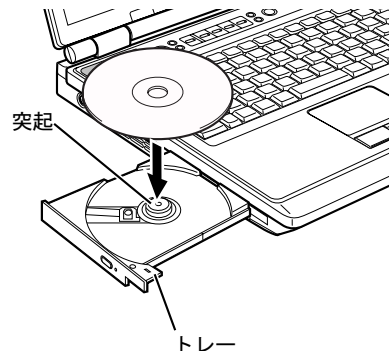
パソコン本体の CD 取り出しボタンでも同様の操作ができます。

3 **トレーを静かに引き出します。**

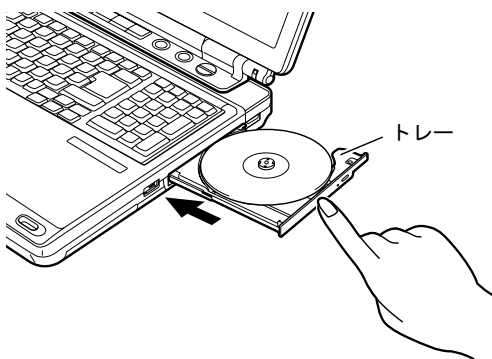
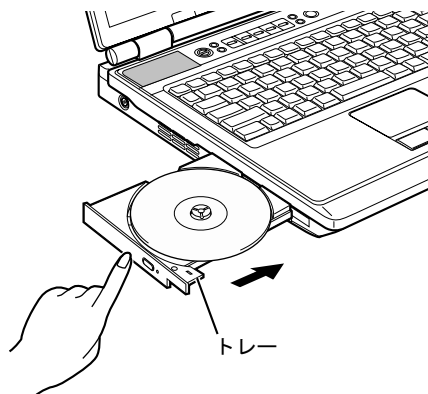
4 トレーを支えながら、ディスクをセットします。

音楽 CD および片面タイプの DVD をご使用になる場合はディスクのレーベル面を、両面タイプの DVD をご使用になる場合は鑑賞したいタイトルが記載されている面を上にして、トレー中央の突起にディスクの穴を合わせ、パチッと音がするまでしっかりとはめ込んでください。きちんとはめ込まないと、再生録画できなかったり、ディスクが取り出せなくなることがあります。

NX シリーズをお使いの場合

突起
トレー

NB シリーズをお使いの場合

5 トレーを静かに押し込みます。

奥まで確実に押し込んでください。

NX シリーズをお使いの場合　　NB シリーズをお使いの場合

重要

ディスクが認識されるまでしばらく（約 10 秒）お待ちください。

ディスクを取り出す

1 **MyMediaボタンを押して、インスタントMyMediaのメインメニューを表示します。**

重要

ディスクの取り出しは、インスタント MyMedia のメインメニューを表示した状態で行なってください。

2 **リモコンの■⏏停止／取り出しボタン、またはパソコン本体の■⏏停止／取り出しボタンを押します。**

トレーが少し飛び出します。

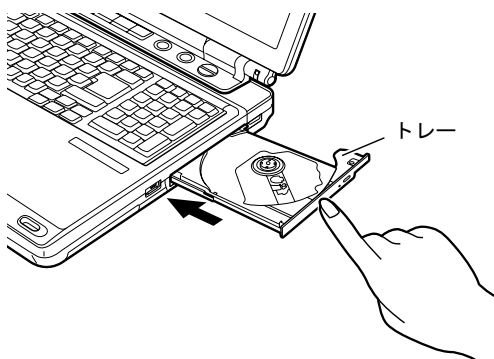
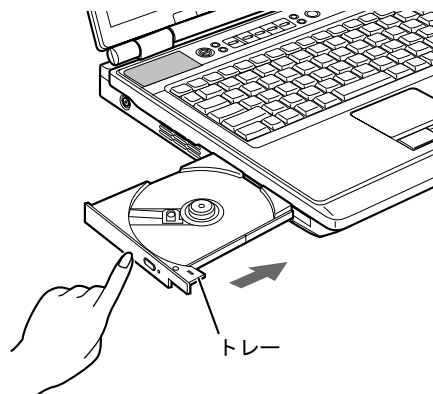
POINT

・DVD-RAM への録画中、および DVD-RAM の初期化中は、ディスクを取り出すことはできません。
・パソコン本体の CD 取り出しボタンでも同様の操作ができます。

3 **トレーを静かに引き出します。**

4 **トレーを手で支えながらディスクを取り出します。**

トレー中央の突起を押さえながら、ディスクがパソコン本体にぶつからないように、ディスクのふちを持ち上げてください。

5 **トレーを静かに押し込みます。**

NX シリーズをお使いの場合　　NB シリーズをお使いの場合

重要

ディスクが取り出せなくなったときは

リモコンの（■⏏）停止／取り出しボタン、およびパソコン本体の■⏏停止／取り出しボタンやCD取り出しボタンを押してもトレーが出てこなくなったときは、次の方法で取り出してください。

1. インスタントMyMediaを終了し、本製品の電源を切ります。
2. CD取り出しボタンの横の穴に、伸ばしたクリップの先などをまっすぐ差し込みます。
   トレーが少し飛び出します。
3. トレーを静かに引き出し、ディスクを取り出します。

第 2 章

パソコンを使わずにテレビを見る

本製品の液晶ディスプレイを使用して、パソコンの OS を起動せずにテレビを見る方法について説明しています。

1 テレビを見る

重要

放送の無いチャンネルが選択された場合、予想外の音量が発生することがありますのでご注意ください。
ヘッドホンをご使用の場合、聴力に悪影響を与える原因となることがありますので、安全のためインスタントテレビ起動時およびチャンネル変更時にはヘッドホンを外してください。

テレビモードに切り換える

1 インスタントMyMediaのメインメニューを表示します。

「インスタント MyMedia を起動する」（→ P.26）

2 ／ ボタンで「テレビ」を選択し、決定決定ボタンを押します。

インスタントテレビが起動します。

重要

パソコンに DVD-RAM ディスクをセットした状態でテレビモードに切り換えた場合、DVD-RAM ディスクの初期化を行うか確認するメッセージが表示されることがあります。この場合は、「いいえ」を選択して決定決定ボタンを押してください。
「はい」を選択すると、ディスクに録画された番組や記録されたデータなどは全て消去されます。

3 リモコンの入力切換 入力切換ボタンを押して、テレビ入力に切り換えます。

入力切換ボタンを押すたびに、テレビ（TV）→ S ビデオ入力（S-Video）→ビデオ入力（コンポジット）の順に切り換わります。
現在の入力は、画面左上に（ ）内のように表示されます。

見たいチャンネルを選択する

リモコンの①-⑫ボタンを使う

見たいチャンネルの番号を押すと、そのチャンネルが表示されます。
13 チャンネル以降を選択する場合は、①-⑫ボタンを「①」＋「③」のように続けて押します。
また、100 以上のチャンネルは、「③」＋「①」＋「②」のようにして選択します。

POINT

⑩ボタンは、最初に押した場合は「10」、二回目以降に押した場合は「0」として扱われます。
・「⑩」＋「③」 → 103 チャンネル
・「③」＋「⑩」 → 30 チャンネル
⑪ボタン、⑫ボタンは、そのまま「11」「12」として扱われます。

リモコンの▲／▼ボタン（またはパソコン本体のチャンネルボタン）を使う

▲ボタン（または上側のボタン）を押すと次のチャンネルが、▼ボタン（または下側のボタン）を押すと前のチャンネルが表示されます。このとき、チャンネルスキップの設定（→ P.24）で○を付けたチャンネル以外は飛ばされます。

音量を調節する

リモコンの＋／－ボタン（またはパソコン本体の音量ボタン）を使う

＋ボタン（または上側のボタン）を押すと音量が大きくなり、－ボタン（または下側のボタン）を押すと小さくなります。

POINT

・音量を操作すると、画面が一時的に停止する場合があります。

重要

音量は、スピーカーから聞こえる音が歪まない範囲で調節してください。スピーカーが故障する原因となることがあります。

音声を消去する

リモコンの消音消音ボタンを押すと、一時的に音声を消すことができます。
もう一度押すと音声が出るようになります。

音声を切り換える

テレビ入力で二カ国語放送などの音声多重放送を受信しているときに、音声モードを選択します。

1 **リモコンの 音声切換 音声切換ボタンを押して、ご希望の音声モードを選択します。**

ボタンを押すたびに、主音声と副音声の間で切り換わります。画面には、「オーディオ：主音声」「オーディオ：副音声」のように表示されます

2 外部映像機器の映像を見る

重要

外部映像機器の接続・取り外しを行うときは、必ず本製品の電源を切ってください。

外部映像機器を接続する

インスタントテレビでは、ビデオデッキや各種セットトップボックスなどの映像機器を接続して、それらの機器の映像／音声を視聴することができます。
ここでは、これらの映像機器を本製品に接続する方法について説明します。

1 必要なものを用意します。

次のものを用意します。

■ ビデオデッキやビデオカメラ、セットトップボックスなどの映像機器
映像出力端子として、コンポジット端子または S 端子を持つものがお使いになれます。各社から発売されています。

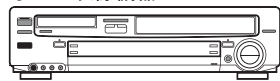
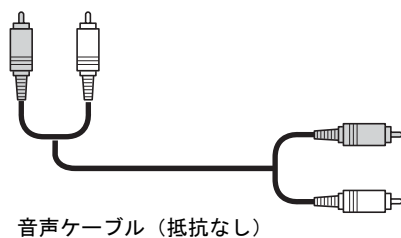
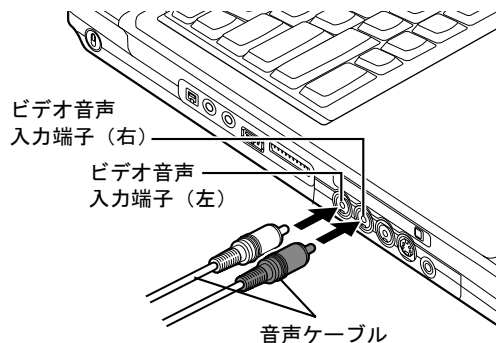
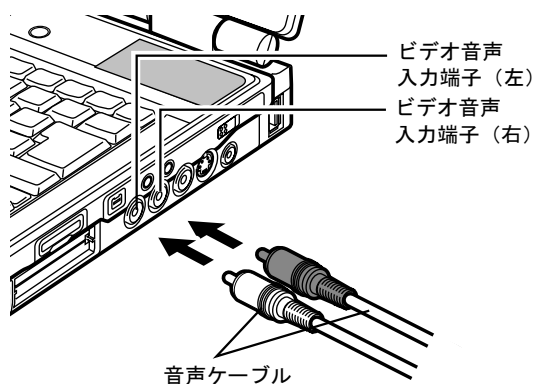
■ ビデオケーブルまたは S 端子ケーブル
本製品と上記映像機を接続するケーブルです。映像機器の出力端子に応じてご用意ください。

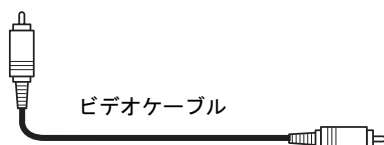
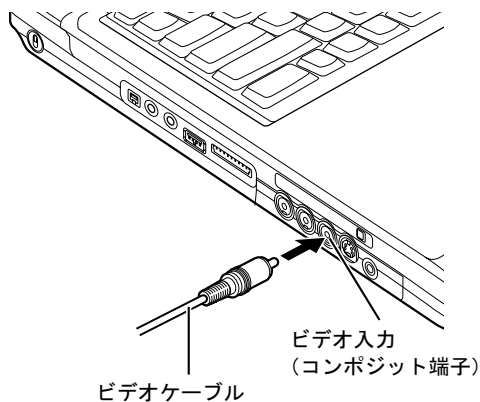
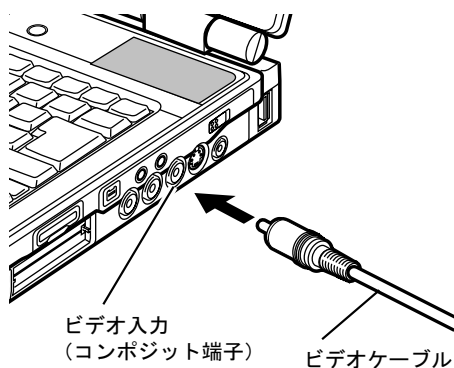
■ 音声ケーブル
映像機器の音声出力と、本製品のビデオ音声入力端子を接続します。ケーブルは「抵抗なし」のものをお使いください。

■ 映像機器のマニュアル
映像機器によって接続が異なります。必ず映像機器のマニュアルをご覧ください。

2 音声ケーブルを接続します。

音声ケーブルを、本製品のビデオ音声入力に、接続したケーブルの反対側を映像機器側の音声出力端子に接続します。

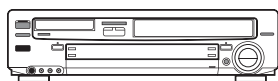
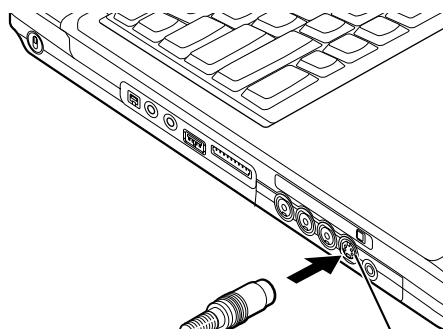
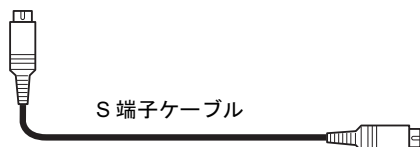
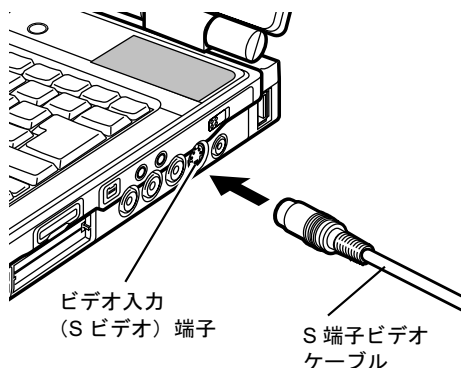
音声ケーブルのピンプラグの色と、本製品の端子の色を合わせて差し込んでください。

3 ビデオケーブルまたは S 端子ケーブルを接続します。

■ビデオケーブルを接続する場合

ビデオケーブルの一方のプラグを本製品のビデオ入力（コンポジット）端子に、反対側を映像機器側の映像出力端子に接続します。

NX シリーズをお使いの場合

NB シリーズをお使いの場合

■ S 端子ケーブルを接続する場合

S 端子ケーブルを、本製品のビデオ入力（S ビデオ）端子に、接続したケーブルの反対側を映像機器側の S 映像出力端子に接続します。

S 端子ケーブルを接続する場合は､ケーブルと接続する端子の向きを確認して差し込んでください。無理に差し込むと、本製品および映像機器が破損するおそれがあります。

POINT

- 同じ映像機器との間をビデオケーブルと S 端子ケーブルの両方で接続すると､S端子ケーブルからの映像が優先されます。ビデオケーブルからの映像を楽しみたいときは､S 端子ケーブルを接続しないでください。

外部映像機器の映像を見る

1 **入力切換ボタンを押して、入力を選択します。**

ボタンを押すたびに、「テレビ（TV）」→「S ビデオ（S-Video）」→「ビデオ（コンポジット）」（→「テレビ」…）の順で入力が切り換わります。
外部映像機器を接続した入力端子に対応する入力を選択してください。
現在の入力は、画面の左上に（）内のように表示されます。

外部映像機器の操作については、外部映像機器のマニュアルをご覧ください。

重要

- ビデオの早送りやスローでの再生時は、画面がちらつくことがあります。
- 映像機器や映像媒体（ビデオテープ、DVD ディスクなど）によっては、画面が乱れることがあります。

POINT

- 音量の調節、音声の消去、画面タイプの変更、画質調節については「テレビを見る」のそれぞれの項目をご覧ください。
  「音量を調節する」（▶ P.37）
  「音声を消去する」（▶ P.37）
  「画面タイプを変更する（NX シリーズのみ）」（▶ P.78）
  「画面設定を調節する」（▶ P.77）

第 3 章

テレビ放送を DVD に録画する

視聴中のテレビ放送を、DVD ディスクに直接録画する方法について説明しています。
本製品のハードディスクに録画する方法や、時間を指定して予約録画する方法については、『テレビを見る・録る・残すガイド』をご覧ください。

1 録画の前に

インスタント MyMedia では、視聴しているテレビ番組を DVD ディスクに録画することができます。
使用可能なディスクの種類については、「ディスクの取り扱いについて」（••▶ P.29）をご覧ください。
なお本章の操作は、既にテレビモードでテレビを見ている状態から操作することを想定しています。テレビモードへの切り換えについては、「テレビモードに切り換える」（••▶ P.36）をご覧ください。

重要

・インスタント MyMedia では、テレビ放送をハードディスクに録画することはできません。また、予約録画をすることもできません。これらの録画を行いたい場合は、パソコンを起動して「TVfunSTUDIO」を使用してください。
••▶ 『テレビを見る・録る・残すガイド』→「第５章　テレビを録る」

DVD ディスクを初期化する

買ったばかりの DVD-RAM ディスクや、他の用途に使用していた DVD-RAM ディスクを使用する場合、録画の前に初期化を行なう必要があります。
また、過去にインスタント MyMedia で録画した番組を消去して新しく録画する場合にも、ディスクの初期化を行なってください。
なお、両面タイプの DVD-RAM ディスクは、片面ごとに初期化してください。

重要

DVD-RAM ディスクにデータが入っていた場合、初期化を行うとすべてのデータが削除されます。

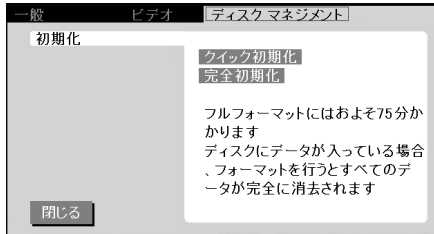
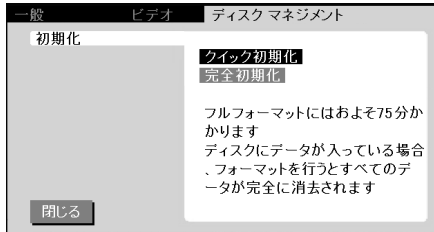
1 本製品のスーパーマルチドライブに、初期化したい DVD-RAM ディスクをセットします。

POINT

PC データ用のディスクをセットすると、「DVD 関連の形式でフォーマットされたディスクではありません」と表示されます。ここでは「いいえ」を選択し、以降の手順に従ってメニュー画面から初期化を行ってください。

2 メニューボタンを押してメニュー画面を表示し、〈ボタンを押します。

3 ボタンを押し、／ボタンで「ディスク マネジメント」を選択します。

4 ／ボタンで「初期化」を選択し、ボタンを押します。

5 ／ボタンで「クイック初期化」または「完全初期化」を選択し、決定ボタンを押します。

初期化が開始されます。

重要

次のような場合は「完全初期化」を行なってください。

- 「クイック初期化」を何度か行なってもインスタント MyMedia がディスクを認識しないとき
- 録画に失敗したとき
- 新品のディスクを使用するとき
- パソコン上でデータの書き込みに使っていたディスクを使用するとき

なお、「完全初期化」にはおよそ 75 分かかります。

6 初期化が完了すると、初期化したディスクの録画可能時間が表示されます。

POINT

- 進行状況を示す%表示が、80% 前後から急に加速することがあります。このため、初期化が途中で終了してしまったように見えることがありますが、この場合でもディスクは問題なく初期化されています。
- 初期化中は、すべての操作が無効になります。

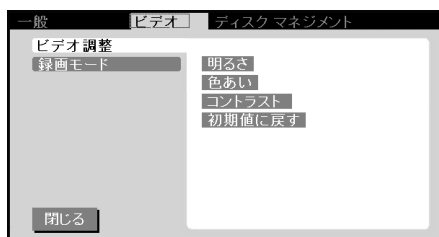
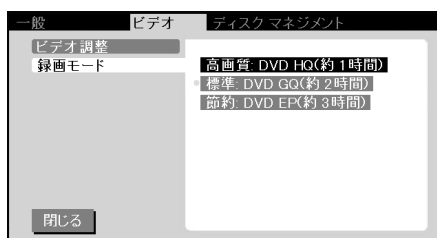
録画モードを設定する

録画モードを「高画質」「標準」「節約」の 3 種類から選択することができます。

録画モード	録画時間の目安注 1	画質
高画質	約 1 時間	よい
標準	約 2 時間	ふつう
節約	約 3 時間	やや粗い

注 1：容量 4.7GB の片面 DVD-RAM の場合

1 メニューメニューボタンを押してメニュー画面を表示し、〈ボタンを押します。

2 ︿ボタンを押し、〈／〉ボタンで「ビデオ」を選択します。

3 ︿／﹀ボタンで「録画モード」を選択し、〉ボタンを押します。

4 ︿／﹀ボタンでお好みの録画モードを選択し、決定決定ボタンを押します。

2 テレビ放送を録画する

1 録画したいチャンネルを表示します。

「テレビを見る」（▶ P.36）

2 初期化済の DVD-RAM ディスクを、本製品のスーパーマルチドライブにセットします。

「ディスクのローディング中です」の表示が消えるまで、お待ちください。

POINT

「ディスクのローディング中です」の表示が消えるまで、録画を開始することはできません。

3 録画ボタンを押します。

録画が開始されます。

重要

- 録画中はリモコンの■⏏停止／取り出しボタンおよび＋／－ボタン、パソコン本体の■⏏停止／取り出しボタンおよび音量調節ボタン以外は効かなくなります。また、録画中にオフタイマーの設定時間が来た場合、オフタイマーは解除されます。
- 両面タイプの DVD-RAM ディスクに録画する場合でも、ディスク両面への連続録画はできません。

4 録画したい場面が終了したら、■⏏停止／取り出しボタン（またはパソコン本体の■⏏停止／取り出しボタン）を押します。

録画が終了し、ディスクが停止します。もう一度■⏏ボタン（またはパソコン本体の■⏏停止／取り出しボタン）を押すと、スーパーマルチドライブのトレーが少し飛び出し、ディスクを取り出すことができます。

POINT

録画した DVD を再生するには、インスタント MyMedia の DVD/CD モードを使用します。
「DVD-Video を再生する」（▶ P.59）
また、パソコンの DVD 再生ソフトを使用することもできます。
▶（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「５．楽しさ広がる FMV」→「CD/DVD を楽しむ」

4

第 4 章

パソコンで録画したテレビやビデオを見る

パソコン上の「TVfunSTUDIO」を使用して本製品のハードディスクに録画したテレビ番組や、「マイビデオ」または「共有ビデオ」フォルダに保存したビデオファイルを再生する方法について説明しています。

パソコンに録画したテレビやビデオを再生する

1 MyMedia MyMediaボタンを押して、インスタントMyMediaのメインメニューを表示します。

2 ／ ボタンで「ビデオ再生」を選択し、決定 決定ボタンを押します。

3 ／ ボタンで再生したいテレビやビデオが保存されているフォルダを選択し、決定 決定ボタンを押します。

（以降のイラストは状況によって異なります）

4 ／ボタンで再生したいテレビやビデオを選択し、決定ボタンを押します。

選択したテレビまたはビデオの再生が始まります。

再生中の操作

■一時停止

再生中に再生／一時停止ボタンを押すと、再生を一時的に停止します。もう一度再生／一時停止ボタンを押すと、再生を再開します。

POINT

再生／一時停止ボタンの代わりに、パソコン本体の►❚❚再生／一時停止ボタンを使うこともできます。

■早送り／巻戻し

再生中に早送りボタンを押すと早送りを、巻戻しボタンを押すと巻戻しをすることができます。ボタンを押すたびに、4 段階に速度が切り換わります。再生／一時停止ボタンを押すと、通常の再生状態に戻ります。

POINT

- 早送り／巻戻しの速度は、2 倍、4 倍、8 倍、20 倍の 4 段階です。
- 速度が 2 倍のときは、映像に沿って音声も再生されます。ただし、場合によっては音飛びなどが発生することもあります。

■停止

再生中に停止／取り出しボタンを押すと、再生を停止して再生可能なビデオのリストに戻ります。

POINT

停止／取り出しボタンの代わりに、パソコン本体の■⏏停止／取り出しボタンを使うこともできます。

■音量の調節

+ボタンを押すと音量が大きく、−ボタンを押すと音量が小さくなります。
また、消音 消音ボタンを押すと、一時的に音声を消すことができます。もう一度押すと再び音声が出るようになります。

+／−ボタンの代わりに、パソコン本体の音量調節ボタンを使うこともできます。上側のボタンを押すと音量が大きくなり、下側のボタンを押すと音量が小さくなります。

■画面設定の変更

画面の明るさ・色あい・コントラストの調節、オフタイマーの設定、画面タイプの変更（NXシリーズのみ）を行なうことができます。
「画面設定を調節する」（••▶ P.77）

第 5 章

CD/DVD を再生する

音楽 CD や DVD-Video を再生する方法、およびテレビモードで DVD に録画したテレビ番組を再生する方法について説明しています。

1 CD を再生する

CD を再生する

1 MyMedia MyMedia ボタンを押して、インスタント MyMedia のメインメニューを表示します。

2 本製品のスーパーマルチドライブに、再生したい CD をセットします。

3 ／ ボタンで「DVD/CD」を選択し、決定 決定ボタンを押します。

4 CD 再生画面が表示され、自動的に 1 曲目の再生が始まります。

再生中の操作

■一時停止

CD の再生中に（▶II）再生／一時停止ボタンを押すと、再生を一時的に停止します。もう一度（▶II）再生／一時停止ボタンを押すと、再生を再開します。

POINT

（▶II）再生／一時停止ボタンの代わりに、パソコン本体の ▶II 再生／一時停止ボタンを使うこともできます。

■早送り／巻戻し

再生中に（▶▶）早送りボタンを押すと早送りを、（◀◀）巻戻しボタンを押すと巻戻しをすることができます。ボタンを押すたびに、4 段階に速度が切り換わります。（▶II）再生／一時停止ボタンを押すと、通常の再生状態に戻ります。

POINT

早送り／巻戻しの速度は、2 倍、4 倍、8 倍、20 倍の 4 段階です。

■曲スキップ

再生中に（▶▶I）順スキップボタンを押すと、再生中の曲をスキップして次の曲の頭から再生を開始します。また、その曲の再生が始まってすぐに（I◀◀）逆スキップボタンを押すと、1 つ前の曲の頭に戻って再生を開始します。なお、再生開始後 10 秒以上経過してから（I◀◀）逆スキップボタンを押すと、その曲の頭から再生を再開します。

POINT

（I◀◀）逆スキップボタンの代わりに、パソコン本体の I◀◀ 逆スキップボタン（NX シリーズの場合）または I◀◀ 戻しボタン（NB シリーズの場合）を使うこともできます。
（▶▶I）順スキップボタンの代わりに、パソコン本体の ▶▶I 順スキップボタン（NX シリーズの場合）または ▶▶I 送りボタンを使うこともできます。

■停止・取り出し

CD の再生中に（■▲）停止／取り出しボタンを押すと、再生を停止します。この状態でもう一度（■▲）停止／取り出しボタンを押すと、スーパーマルチドライブのトレーが少し飛び出し、CD を取り出すことができます。

POINT

（■▲）停止／取り出しボタンの代わりに、パソコン本体の ■▲ 停止／取り出しボタンを使うこともできます。

■音量の調節

[+]ボタンを押すと音量が大きく、[−]ボタンを押すと音量が小さくなります。
また、消音 消音ボタンを押すと、一時的に音声を消すことができます。もう一度押すと音声が出るようになります。

POINT

[+]／[−]ボタンの代わりに、パソコン本体の音量調節ボタンを使うこともできます。上側のボタンを押すと音量が大きくなり、下側のボタンを押すと音量が小さくなります。

重要

音量は、スピーカーから聞こえる音が歪まない範囲で調節してください。スピーカーが故障する原因となることがあります。

2 DVD-Video を再生する

重要

DVD-Video ディスクにはそれぞれ地域コードが記録されており、インスタント MyMedia で設定した値と異なる地域コードを持つディスクは再生することができません。
地域コードが異なるディスクを再生したい場合は、インスタント MyMedia の地域コード設定を変更してください。
「地域コード（リージョンコード）を変更する」（••▶ P.64）

DVD を再生する

1 **MyMedia ボタンを押して、インスタント MyMedia のメインメニューを表示します。**

2 **再生したい DVD ディスクを本製品のスーパーマルチドライブにセットします。**

「ディスクをセットする」（••▶ P.30）

3 **／ボタンで「DVD/CD」を選択し、決定ボタンを押します。**

自動的に DVD の再生が始まります。

重要

現在の設定と異なる地域コード（リージョンコード）の DVD を再生しようとした場合、再生できない旨のメッセージまたは警告画面が表示されます。この DVD を再生する場合は、一度ディスクを取り出してリージョンコードの設定を変更してください。
メッセージが表示されている場合は決定ボタンを押してメッセージを消去し、上記の操作を行なってください。
「ディスクを取り出す」（••▶ P.32）
「地域コード（リージョンコード）を変更する」（••▶ P.64）

POINT

一度見た DVD を再生する場合、オートレジューム設定によって以下の地点から再生を開始します。
「常にディスクの先頭から再生」に設定している場合：ディスクの先頭から再生します。
「常に最後の位置からレジューム再生」に設定している場合：前回停止した地点の続きから再生します。
「再生開始位置を設定する」（••▶ P.65）

再生中の操作

■一時停止

再生中に ⏯ 再生／一時停止ボタンを押すと、再生を一時的に停止します。もう一度 ⏯ 再生／一時停止ボタンを押すと、再生を再開します。

POINT

- ⏯ 再生／一時停止ボタンの代わりに、パソコン本体の ▶❚❚ 再生／一時停止ボタンを使うこともできます。
- 早送り／巻戻しの速度は、2 倍、4 倍、8 倍、20 倍の 4 段階です。
- 速度が 2 倍のときは、映像に沿って音声も再生されます。ただし、場合によっては音飛びなどが発生することもあります。

■早送り／巻戻し

再生中に ⏩ 早送りボタンを押すと早送りを、⏪ 巻戻しボタンを押すと巻戻しをすることができます。ボタンを押すたびに、4 段階に速度が切り換わります。⏯ 再生／一時停止ボタンを押すと、通常の再生状態に戻ります。

■チャプター（章）の移動

DVD に複数のチャプター（章）が設定されている場合、再生中に ⏭ 順スキップボタンを押すと、再生中のチャプターをスキップして次のチャプターの先頭から再生を開始します。
また、そのチャプターの再生が始まってすぐに ⏮ 逆スキップボタンを押すと、一つ前のチャプターの先頭に戻って再生を開始します。なお、再生開始後 10 秒以上経過してから ⏮ 逆スキップボタンを押すと、その曲の頭から再生を再開します。

POINT

⏮ 逆スキップボタンの代わりに、パソコン本体の ⏮ 逆スキップボタン（NX シリーズの場合）または ⏮ 戻しボタン（NB シリーズの場合）を使うこともできます。
⏭ 順スキップボタンの代わりに、パソコン本体の ⏭ 順スキップボタン（NX シリーズの場合）または ⏭ 送りボタンを使うこともできます。

■停止・取り出し

再生中に ■⏏ 停止／取り出しボタンを押すと、再生を停止します。この状態でもう一度停止／取り出しボタンを押すと、スーパーマルチドライブのトレーが少し飛び出し、ディスクを取り出すことができます。

POINT

■⏏ 停止／取り出しボタンの代わりに、パソコン本体の ■⏏ 停止／取り出しボタンを使うこともできます。

■アングルを変更する

DVD に複数のアングルが設定されている場合、アングル アングルボタンを押すと、次のアングルに切り換えて表示します。

POINT

再生中の DVD にアングルが一種類しか設定されていない場合、アングルは切り換わりません。

■音声を変更する

DVD に複数の音声が設定されている場合、音声切換 音声切換ボタンを押すと、次の音声に切り換えて出力します。

POINT

再生中の DVD に音声が一種類しか設定されていない場合、音声は切り換わりません。

■字幕を変更する

DVD に複数の字幕情報が設定されている場合、字幕 字幕ボタンを押すと、次の字幕に切り換えて表示します。

POINT

再生中の DVD に字幕が一種類しか設定されていない場合、字幕は切り換わりません。

■停止・取り出し

DVD の再生中に(■⏏)停止／取り出しボタンを押すと、再生を停止します。この状態でもう一度(■⏏)停止／取り出しボタンを押すと、スーパーマルチドライブのトレーが少し飛び出し、DVD を取り出すことができます。

POINT

(■⏏)停止／取り出しボタンの代わりに、パソコン本体の ■⏏ 停止／取り出しボタンを使うこともできます。

重要

ディスクを取り出す場合は、インスタント MyMedia のメインメニューを表示してから行なってください。

「ディスクを取り出す」（••▶ P.32）

■音量の調節

[+]ボタンを押すと音量が大きく、[−]ボタンを押すと音量が小さくなります。

また、消音 消音ボタンを押すと、一時的に音声を消すことができます。もう一度押すと音声が出るようになります。

POINT

[+]／[−]ボタンの代わりに、パソコン本体の音量調節ボタンを使うこともできます。上側のボタンを押すと音量が大きくなり、下側のボタンを押すと音量が小さくなります。

5

重要

音量は、スピーカーから聞こえる音が歪まない範囲で調節してください。スピーカーが故障する原因となることがあります。

■画面設定の変更

画面の明るさ・色あい・コントラストの調節、オフタイマーの設定、画面タイプの変更（NXシリーズのみ）を行なうことができます。

「画面設定を調節する」（→ P.77）

DVD-Video ディスクのメニューを使用する

DVD-Video によっては、そのディスク独自のメニューを持っているものがあります。
このような DVD-Video の場合、メニュー画面からディスク独自のメニューを呼び出して操作することができます。

POINT

DVD-Video によっては、セットすると自動的にタイトルメニューが表示されるものがありますが、このとき画面にタイトルメニューが表示されていてもリモコンで操作できない場合があります。この場合も、下記手順に従ってメニュー画面からタイトルメニューを呼び出してください。

1 **メニューボタンを押してメニュー画面を表示し、〈ボタンを押します。**

2 **︿／﹀ボタンで「メニュー」を選択し、〉ボタンを押します。**

3 **︿／﹀ボタンで「ルートメニュー」または「タイトルメニュー」を選択し、決定ボタンを押します。**

ディスク独自のメニュー画面を表示します。

4 **︿／﹀／〈／〉ボタン、および決定ボタンでメニューの操作を行ないます。**

重要

メニューの表示や内容は、DVD-Video により異なります。

3 DVD に録画したテレビやビデオを再生する

インスタント MyMedia で録画したテレビを再生する

インスタント MyMedia のテレビモードでテレビ放送を録画した DVD は、市販の DVD-Video と同様に DVD/CD モードで再生することができます。再生手順や再生中の操作については「DVD-Video を再生する」（••▶ P.59）をご覧ください。

他の DVD レコーダーで録画したテレビやビデオを再生する

DVD ビデオフォーマット、または DVD-VR フォーマットで録画された DVD を再生することができます。再生手順や再生中の操作については「DVD-Video を再生する」（••▶ P.59）をご覧ください。

5

重要

・映像フォーマットが DVD ビデオ形式のディスクを再生する場合、録画した機器によってディスクが正しくファイナライズされている必要があります。
・DVD+VR 形式の映像フォーマットで録画されたディスクを再生することはできません。
・DVD+R ディスクを再生することはできません。
・デジタル放送を録画した DVD ディスクを再生することはできません

4 DVD-Video の再生設定を変更する

重要

DVD-Video は、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。その場合、インスタント MyMedia ではソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生するため、操作した通りに機能が働かない場合があります。
再生する DVD のマニュアルも合わせてご覧ください。

地域コード（リージョンコード）を変更する

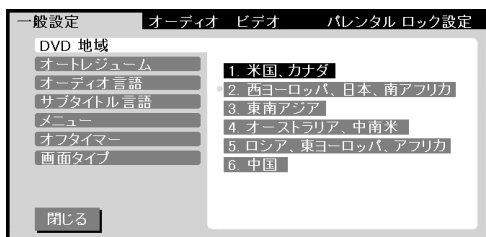
DVD-Video にはそれぞれ再生可能な地域コード（リージョンコード）が設定されており、再生装置のリージョンコードと一致しない場合は再生することができません。
どうしてもリージョンコードが異なる DVD を再生したい場合に、インスタント MyMedia のリージョンコードを変更することができます。

重要

- リージョンコードの変更は、パソコン上の「WinDVD」での変更と合わせて 4 回までです。
  リージョンコードを 4 回変更すると、最後に設定したリージョンコードに固定され、その他のリージョンコードの DVD-Video は再生できなくなります。固定された地域コードを変更する方法はありませんのでご注意ください。
- ご購入時のリージョンコードは「2. 西ヨーロッパ、日本、南アフリカ」です。

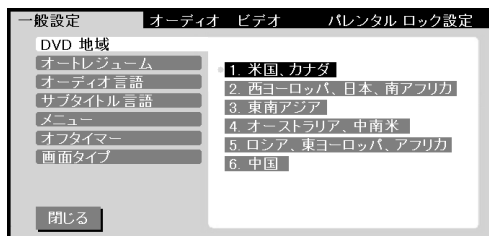
POINT

DVD の再生中は、地域コードを変更することはできません。（■⏏）停止／取り出しボタンを押して再生を停止してから操作を行なってください。

1 メニュー ◯ メニューボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 **現在設定されている地域コードを確認します。**

左側に○のついている項目が、現在設定されている地域コードです。

3 ▲／▼ボタンで新しい地域を選択し、決定 決定ボタンを押します。

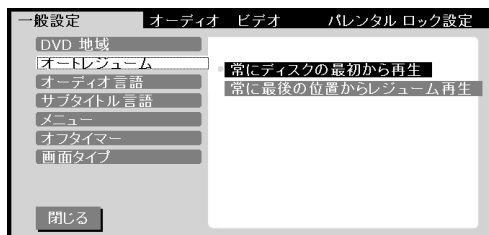
新しく設定した地域のリージョンコードをもつ DVD-Video のみが再生できるようになります。

重要

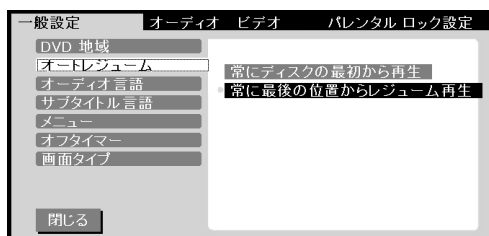
・リージョンコードを「2」以外に変更すると、日本国内で販売されている DVD-Video の多くが再生できなくなる可能性があります。

再生開始位置を設定する

DVD-Video の再生を開始する位置を設定します。

1 メニュー メニューボタンを押してメニュー画面を表示し、◀ボタンを押します。

2 ▲／▼ボタンで「オートレジューム」を選択し、▶ボタンを押します。

3 ▲／▼ボタンでお好みの設定を選択し、決定 決定ボタンを押します。

常にディスクの先頭から再生：前回停止位置に関わらず、ディスクの先頭から再生します。
常に最後の位置からレジューム再生：前回そのディスクの再生を停止した地点の続きから再生します。

重要

オートレジューム設定の変更は、一度本製品の電源を切った後に有効になります。

5

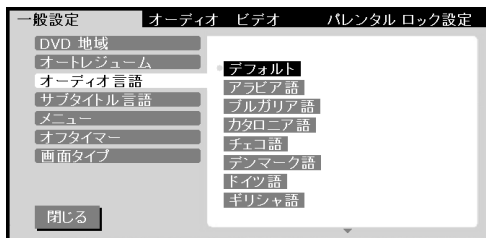
音声と字幕の言語を変更する

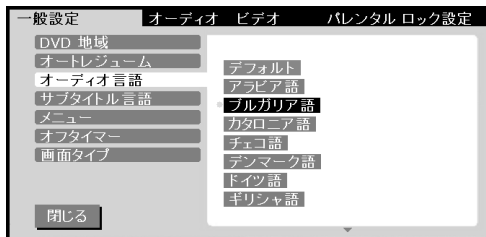
DVD-Video によっては、音声や字幕を複数の言語から選択できるものがあります。
このような DVD-Video を再生する場合に、最初に選択される言語を設定することができます。

POINT

再生中に音声／字幕の言語を変更するには、音声切換 音声切換ボタン／字幕 字幕ボタンを使用します。
→「DVD-Video を再生する」（P.59）

1 **メニュー メニューボタンを押してメニュー画面を表示し、 ボタンを押します。**

2 **／ ボタンで「オーディオ言語」または「サブタイトル言語」を選択し、 ボタンを押します。**

「オーディオ言語」を選択すると音声の言語を、「サブタイトル言語」を選択すると字幕の言語を変更できます。

3 **お好みの言語を選択し、決定 決定ボタンを押します。**

重要

オーディオ言語設定、およびサブタイトル言語設定の変更は、一度本製品の電源を切った後に有効になります。

ブックマークを使用する

お気に入りのシーンをブックマークに記録したり、記録したシーンから DVD を再生したりすることができます。
ブックマークは DVD-Video ごとに記録することができます。

ブックマークを記録する

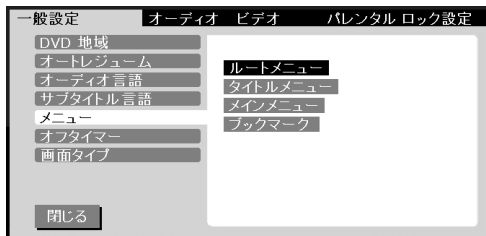
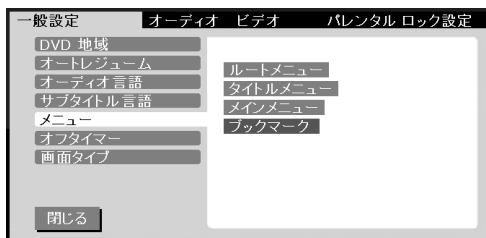
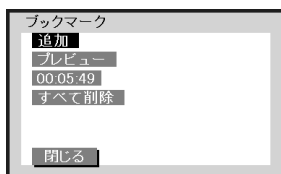
1 **ブックマークを記録したいシーンで一時停止します。**

▶「DVD-Video を再生する」（P.59）

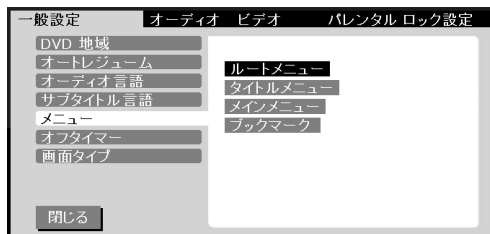
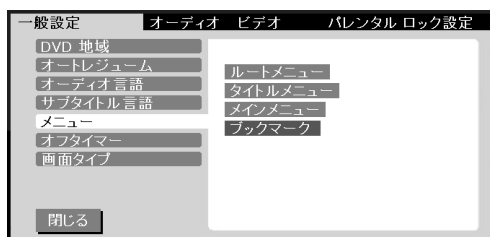
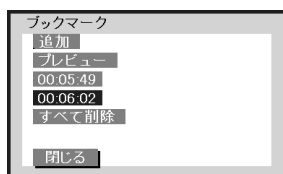
POINT

再生中でも記録することはできますが、操作中も再生が進んでいくため、一時停止することをお勧めします。

2 **メニューボタンを押してメニュー画面を表示し、〈ボタンを押します。**

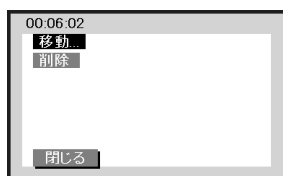
3 **／ボタンで「メニュー」を選択して〉ボタンを押します。**

4 **／ボタンで「ブックマーク」を選択し、決定ボタンを押します。**

5 **／ボタンで「追加」を選択し、決定ボタンを押します。**

ブックマークを呼び出す

1 メニュー メニューボタンを押します。

2 ボタンを押し、 / ボタンで「メニュー」を選択して ボタンを押します。

3 / ボタンで「ブックマーク」を選択し、決定 決定ボタンを押します。

4 / ボタンで呼び出したいブックマークを選択し、決定 決定ボタンを押します。

POINT

「プレビュー」を選択して 決定 決定ボタンを押すと、ブックマークしたシーンの縮小画像を並べて見ながら選択することができます。

5 / ボタンで「移動」を選択し、決定 決定ボタンを押します。

ブックマークの位置から再生が始まります。

POINT

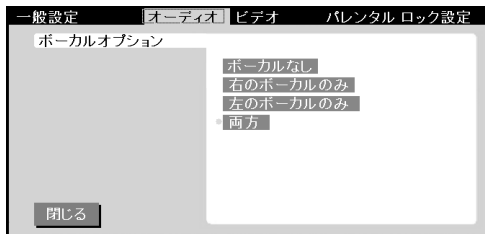
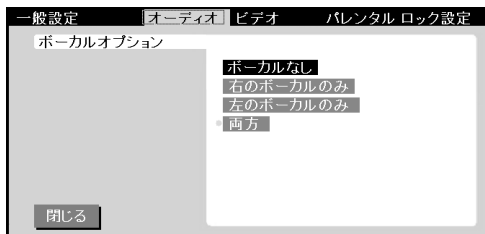
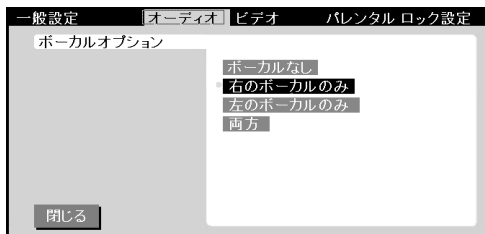
「削除」を選択して 決定 決定ボタンを押すと、そのブックマークを削除することができます。

カラオケの設定を変更する

DVD-Video によっては、歌のボーカル部分のみを消去してカラオケとして再生できるものがあります。このような DVD-Video の場合、ボーカル音声の有無を選択できます。

ボーカルの有無を変更する

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示し、ボタンを押します。

2 ボタンを押し、／ボタンで「オーディオ」を選択します。

3 ／ボタンで「ボーカルオプション」を選択し、ボタンを押します。

4 ／ボタンでお好みの設定を選択し、決定ボタンを押します。

5 ボタンを 2 回押して「終了」を選択し、決定ボタンを押します。

画質を調整する

画面の明るさ、色あい、コントラストをお好みに合わせて調節することができます。
詳しくは以下をご覧ください。
「画質を調節する」（P.80）

5

パレンタルロック（視聴制限）設定を変更する

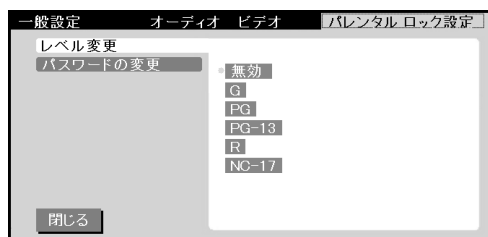
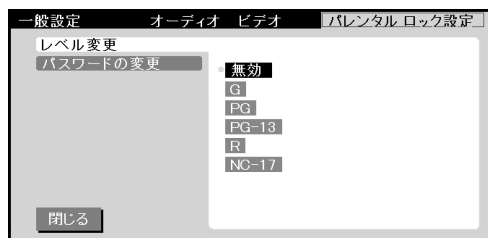
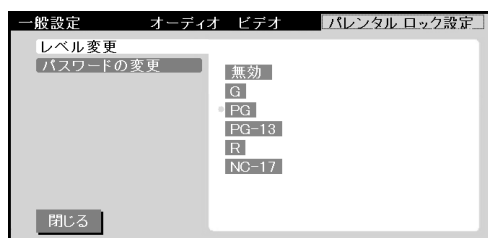
DVD-Video によっては、パレンタルロック（視聴制限）レベルが設定されているものがあります。このような DVD-Video の場合、あらかじめパスワードを登録して視聴制限を行なうレベルを設定しておくことにより、子供に暴力シーンやアダルト映像などを見せないようにすることができます。

POINT

DVD の再生中は、制限レベルおよびパスワードを変更することはできません。停止／取り出しボタンを押して再生を停止してから操作を行なってください。

パレンタルロックを設定する

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示し、ボタンを押します。

2 ボタンを押し、／ボタンで「パレンタル　ロック設定」を選択します。

3 ／ボタンで「レベル変更」を選択し、ボタンを押します。

4 ／ボタンでお好みの制限レベルを選択し、決定ボタンを押します。

5 ボタンを押し、／ボタンで「パスワードの変更」を選択してボタンを押します。

6 ／ボタンで「新規パスワード」を選択し、決定ボタンを押します。

制限レベルが「無効」に設定されている場合、パスワードの設定を行うことはできません。

7 1-12ボタンでパスワードを入力し、決定ボタンを押します。

8 ／ボタンで「新規パスワードの確認」を選択し、決定ボタンを押します。

5

9 手順6で入力したパスワードをもう一度入力し、決定ボタンを押します。

POINT

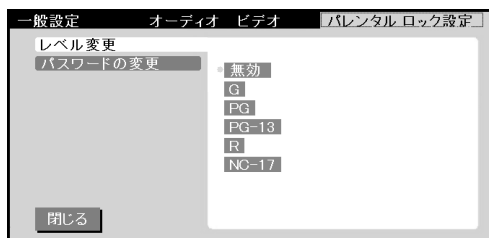
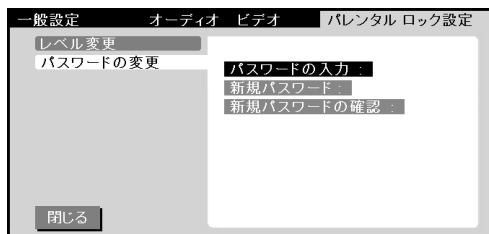
手順 6 と手順 8 で入力したパスワードが一致しない場合、下記のメッセージが表示されます。決定ボタンを押してメッセージを消去し、手順 6 からやりなおしてください。

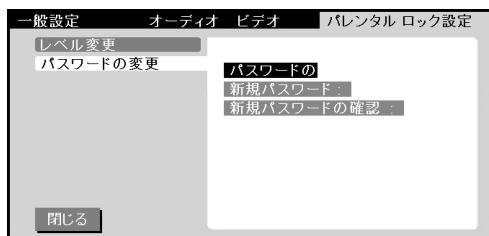
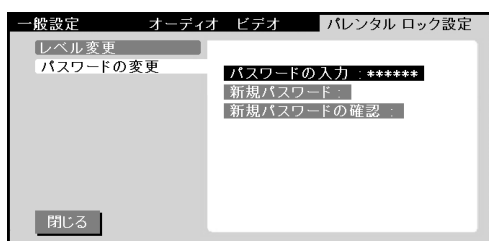
10 決定ボタンを押して、メッセージを消去します。

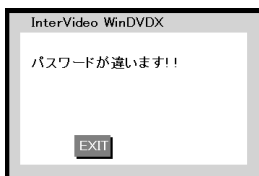
パスワードが設定され、パレンタルロックが有効になります。
以後、パレンタルロックを解除もしくは制限レベルを変更するには、このパスワードが必要となります。

制限レベルを変更する

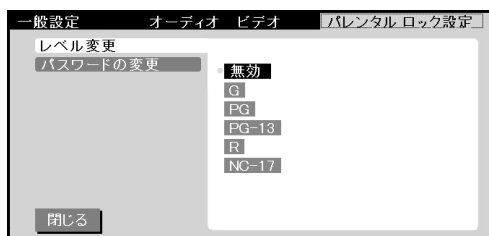
1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示し、ボタンを押します。

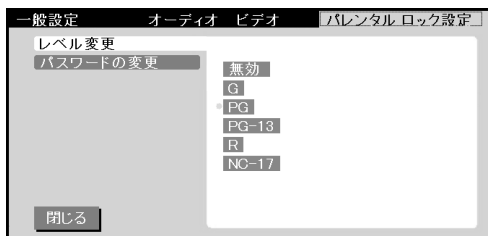
2 ボタンを押し、／ボタンで「パレンタル ロック設定」を選択します。

3 ／ボタンで「パスワードの変更」を選択し、ボタンを押します。

「パスワードの入力」欄に「****」などと表示されている場合、すでに有効なパスワードを入力済みです。そのまま手順７に進んでください。

4 ／ボタンで「パスワードの入力」を選択し、決定ボタンを押します。

5 リモコンの①-⑫ボタンでパスワードを入力し、決定ボタンを押します。

POINT

・ここで入力したパスワードは、メニュー画面を閉じるまで有効です。
・パスワードを間違えた場合、下記のメッセージが表示されます。
決定ボタンを押してメッセージを消去し、手順１より操作をやりなおしてください。

6 ボタンを押します

7 ／ボタンで「レベル変更」を選択してボタンを押します。

5

8 ／ボタンでお好みのレベルを選択し、決定ボタンを押します。

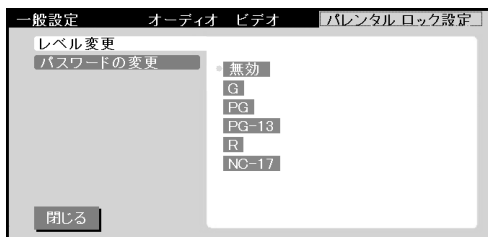
設定したレベルまでのパレンタルロックレベルを持つ DVD-Video が再生できるようになります。

9 ボタンを押し、／ボタンで「閉じる」を選択して決定ボタンを押します。

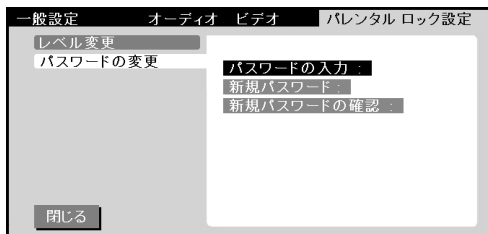
重要

インスタント MyMedia は、再生時にパスワードを入力するよう設定された DVD-Video には対応していません。これらの DVD-Video を再生するときは、インスタント MyMedia のパレンタルレベルを「無効」に設定してください。

パスワードを変更する

パレンタルロックレベルの変更に必要なパスワードを変更することができます。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示し、ボタンを押します。

2 ボタンを押し、／ボタンで「パレンタル ロック設定」を選択します。

3 ／ボタンで「パスワードの変更」を選択し、ボタンを押します。

「パスワードの入力」欄に「****」などと表示されている場合、すでに有効なパスワードを入力済みです。そのまま手順 6 に進んでください。

4 ／ボタンで「パスワードの入力」を選択し、(決定)決定ボタンを押します。

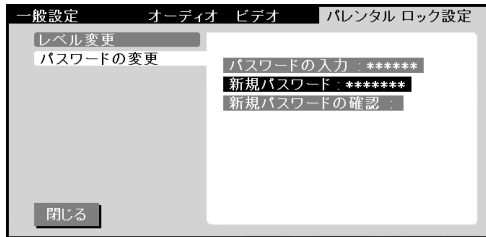
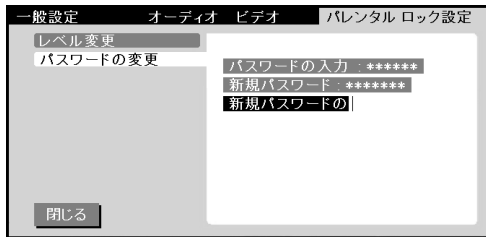
5 リモコンの(1)-(12)ボタンでパスワードを入力し、(決定)決定ボタンを押します。

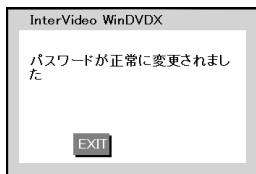
POINT

・ここで入力したパスワードは、メニュー画面を閉じるまで有効です。
・パスワードを間違えた場合、下記のメッセージが表示されます。
(決定)決定ボタンを押してメッセージを消去し、手順 1 より操作をやりなおしてください。

6 ／ボタンで「新規パスワード」を選択し、(決定)決定ボタンを押します。

5

7 リモコンの①-⑫ボタンで新しいパスワードを入力し、(決定)決定ボタンを押します。

8 ∧／∨ボタンで「新規パスワードの確認」を選択し、(決定)決定ボタンを押します。

9 リモコンの①-⑫ボタンで新しいパスワードをもう一度入力し、(決定)決定ボタンを押します。

パスワードが変更されます。これ以降、パレンタルロックレベルを変更するには新しいパスワードが必要になります。

POINT

手順7と手順9で入力したパスワードが一致しない場合､下記のメッセージが表示されます。(決定)決定ボタンを押してメッセージを消去し、手順１より操作をやりなおしてください。

10 (決定)決定ボタンを押して、メッセージを消去します。

第 6 章

画面設定を調節する

テレビや DVD、ビデオを見るときの画質設定の調節方法、画面タイプの変更方法、オフタイマーの設定方法について説明しています。

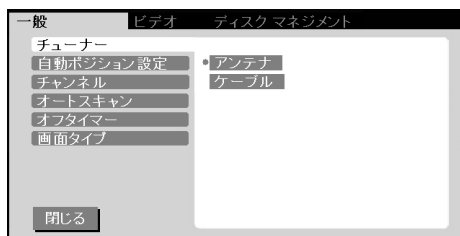
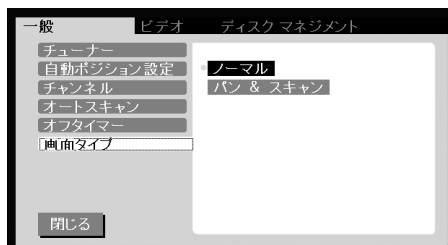
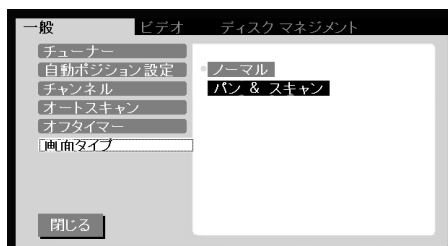
画面タイプを変更する（NX シリーズのみ）

本製品の液晶ディスプレイと縦横の比率が違う映像を表示する場合に、どのように表示するかを選択することができます。

重要

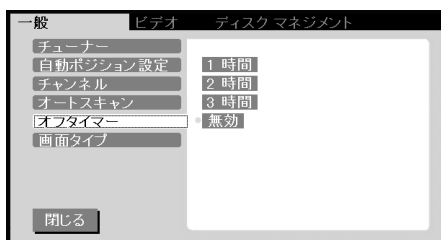
NB シリーズをお使いの場合、画面タイプの設定を変更しても画面表示は変わりません。

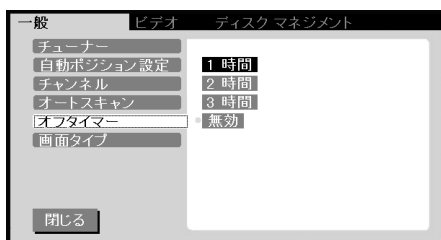
画面タイプ	見えかた
ノーマル	映像の上下が画面いっぱいになるように表示します。画面比率 4:3 の映像を入力した場合、画面の左右に黒い帯が表示されます。
パン＆スキャン	映像の左右が画面いっぱいになるように、映像を拡大して表示します。画面比率 4:3 の映像を表示した場合、映像の上下がカットされます。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示し、ボタンを押します。

2 ／ボタンで「画面タイプ」を選択してボタンを押します。

3 ／ボタンでお好みの画面タイプを選択し、決定ボタンを押します

オフタイマーを設定する

オフタイマーを使用すると、設定した時間が経過した場合に自動的にインスタントMyMediaを終了して本製品の電源を切るようにすることができます。
オフタイマーは、1 時間、2 時間、もしくは 3 時間に設定することができます。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示し、ボタンを押します。

2 ／ ボタンで「オフタイマー」を選択し、ボタンを押します。

3 ／ ボタンで電源が切れるまでの時間を選択し、決定ボタンを押します。

オフタイマーが設定され、メニュー画面が消去されます。

POINT

- オフタイマーの設定を変更する場合、再度手順 1 ～ 3 を行ってください。
- オフタイマーを解除する場合、手順 3 で「無効」を選択してください。

4 指定した時間が経過すると自動的にインスタント MyMedia が終了し、本製品の電源が切れます。

重要

オフタイマーで電源が切れる時間に DVD への録画を行っていた場合、オフタイマーは解除されそのまま録画が続行されます。
設定時間より前にインスタント MyMedia を終了した場合、オフタイマーは解除されます。

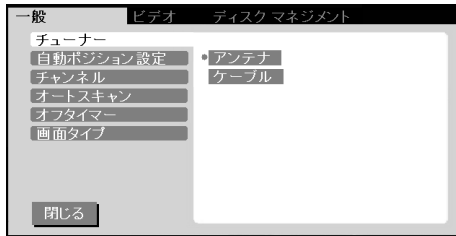
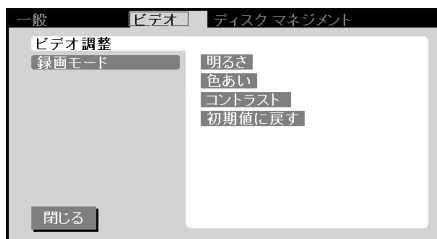
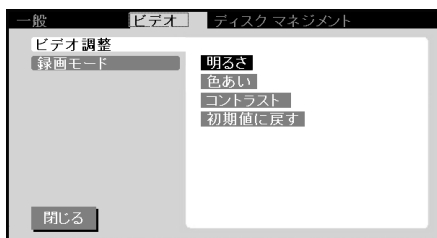
6

画質を調節する

映像の明るさ、色あい、コントラストをお好みに合わせて調節することができます。

POINT

「ビデオ調整」の各項目は、テレビモード、DVD/CD モード、ビデオ再生モードの全てに適用されます。各モード毎に設定を変えることはできません。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示し、◁ボタンを押します。

2 △ボタンを押し、◁／▷ボタンで「ビデオ」を選択します。

3 △／▽ボタンで「ビデオ調整」を選択し、▷ボタンを押します。

4 △／▽ボタンで「明るさ」、「色合い」、「コントラスト」の中から調節したい項目を選択し、決定ボタンを押します。

画面下部にバーが表示されます。

5 △／▽ボタンでお好みの値に調節します。

ご購入時の設定に戻す

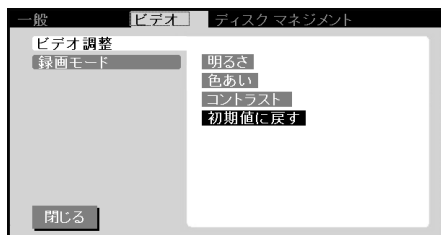
1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示し、◁ボタンを押します。

2 △ボタンを押し、◁／▷ボタンで「ビデオ」を選択します。

3 △／▽ボタンで「ビデオ調整」を選択し、▷ボタンを押します。

4 △／▽ボタンで「初期値に戻す」を選択し、決定ボタンを押します。

6

第 7 章

こんなときは

1　こんなときは

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、以下の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。
下図の〔参照ページ〕に『　』で表記されているのは、パソコン本体側のマニュアル名です。該当するマニュアルをご覧ください。
問題が解決できない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元にご連絡ください。
「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」のご利用については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
電源ランプ（NBシリーズでは電源ボタン周囲の点灯表示）が消灯している	ACアダプタが正しく接続されていない。	ACアダプタを正しく奥まで確実に接続してください。	『パソコンの準備』→「ACアダプタを接続する」
	電源が入っていない。	電源を入れてください。	「各部の名称と働き」（P.10）
電源ランプ（NBシリーズでは電源ボタン周囲の点灯表示）が青色に点灯している	ビデオ入力端子に接続された映像機器の電源が入っていない。	映像機器の電源を入れてください。	－
	ビデオケーブルまたはS端子ケーブルが正しく接続されていない	ビデオケーブルまたはS端子ケーブルを正しく奥まで確実に接続してください。	「外部映像機器を接続する」（P.39）

画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
点灯したままの点や黒い点が表示される	液晶ディスプレイの特性で、故障ではありません。	交換・返品はお受けいたしかねますので予めご了承ください。	－
テレビ放送が映らない	アンテナケーブルが接続されていない。	アンテナケーブルを正しく接続してください。	『パソコンの準備』→「アンテナケーブルを接続する」(注1)
	チャンネルが設定されていない。	チャンネル設定を行ってください。	「チャンネルの設定」（P.22）

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
テレビ放送の映像が不鮮明	アンテナケーブルが正しく接続されていない。	アンテナケーブルを正しく接続してください。	『パソコンの準備』→「アンテナケーブルを接続する」(注1)
テレビ放送の映像が二重、三重に見える	山や建物からの反射波の影響を受けている。	アンテナの位置、方向、角度を調節してください。	–
テレビ放送の映像に斑点や縞模様が見える テレビ放送の映像が揺れる	自動車やバイク、高圧線、ヘアドライヤーなどの電化製品からの影響を受けている。	設置場所を変えてみてください。	–
DVD が再生できない DVD の画像が乱れる	ディスクが裏返しになっている	ディスクの表裏を確認してください。	–
	ディスクが汚れている	ディスクのデータ面をきれいに拭いてください。	–
	ディスクに傷がある ディスクが反っている	傷ついたディスク、反ったディスクはご使用になれません。他のディスクをご使用ください。	–

注1：『パソコンの準備』→「第2章　接続する」→「2．アンテナケーブルを接続する」

音が聞こえない／変な音が聞こえる

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない	本製品のスピーカーの設定がオフになっている	リモコンの消音ボタンを押して、スピーカーオン／オフを切り換えてください。	「各部の名称と働き」（P.10）
	音量が小さすぎる	リモコンの音量ボタンで音量を調節してください。	「各部の名称と働き」（P.10）
	本製品にヘッドホンが接続されている。	本製品にヘッドホンが接続されていると、スピーカーから音が出ません。ヘッドホンを抜いてください。	「各部の名称と働き」（P.10）
	ビデオ入力の音声ケーブルが接続されていない。	本製品および映像機器に音声ケーブルを正しく接続してください。	「外部映像機器を接続する」（P.39）
スピーカーからプツプツという雑音が聞こえる	本製品の近くで携帯電話、PHS などの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、PHS などを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。	–
チャンネル切換時に一瞬雑音が聞こえる	受信できないチャンネルを選択したため。	他のチャンネルを選択してください。	「チャンネルの設定」（P.22）

7

操作が効かない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
リモコンで操作できない	リモコンの電池が切れている。	リモコンの電池を交換してください。	『パソコンの準備』→「リモコンに乾電池を入れる」(注2)
	リモコン電池の極性（＋－）が逆になっている。	電池の極性（＋－）を正しい向きに入れてください。	『パソコンの準備』→「リモコンに乾電池を入れる」(注2)
	本製品の AC アダプタが正しく接続されていない。	ACアダプタを正しく奥まで確実に接続してください。	『パソコンの準備』→「AC アダプタを接続する」(注3)
	リモコン受光部に蛍光灯などの強い照射光が当たっている。	本製品の向き、設置場所を変えてください。	－
	リモコンの信号がリモコン受光部に届いてない。	リモコンを受光部に正しく向けて操作してください。	－
インスタントMyMediaを起動しようとすると、パソコンが起動してしまう	パソコンがスタンバイになっている	スタンバイを解除して、パソコンを終了させてください。	『画面で見るマニュアル』→「省電力機能について」(注4)
	BIOS 設定の「インスタント MyMedia」が「使用しない」になっている	BIOS の設定を変更してください。	『画面で見るマニュアル』→「BIOS の設定」(注5)
音量ボタンなど、一部のボタンしか反応しない	テレビ放送を録画している	故障ではありません。録画中は、音量の調節と録画の停止以外の操作はできません。	「テレビ放送を録画する」(→ P.49)

注２：『パソコンの準備』→「第２章　接続する」→「リモコンを準備する」→「リモコンに乾電池を入れる」

注３：『パソコンの準備』→「第２章　接続する」→「AC アダプタを接続する」

注４：（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「７．パソコン本体の取り扱い」→「省電力機能について」

注５：（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「７．パソコン本体の取り扱い」→「BIOS の設定」

録画できない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
リモコンの録画◉録画ボタンを押しても、録画が開始されない	DVD-RAM ディスクが認識されていない	DVD-RAM ディスクが認識されるまでには時間がかかります。「ディスクのロード中」の表示、または録画可能時間の表示が消えてから再度録画◉録画ボタンを押してください。	—
リモコンの録画◉録画ボタンを押すと、「ディスクがありません」というメッセージが表示される	DVD-RAM ディスク以外のディスクがセットされている	インスタント MyMedia で録画できるのは、DVD-RAM ディスクだけです。DVD-RAM ディスクを使用してください。	「使用できるディスク」（••► P.29）
	DVD-RAM ディスクが正しくセットされていない	DVD-RAM ディスクをスーパーマルチドライブに正しくセットしなおしてください。	「ディスクをセットする」（••► P.30）
	スーパーマルチドライブのトレーが閉まっていない	ディスクが正しくセットされていることを確認し、カチッと音がするまで、スーパーマルチドライブのトレーを押し込んでください。	「ディスクをセットする」（••► P.30）

7

2 インスタント MyMedia のリカバリ

インスタントMyMediaが起動しなくなった、または正しく動作しなくなった場合、「インスタントMyMediaのリカバリ」を行なってご購入時の状態に戻すことで解決する場合があります。
インスタントMyMediaのリカバリを行なうには、「リカバリディスク」および「インスタントMyMediaリカバリディスク」を使用します。

重要

インスタント MyMedia のリカバリを行うと、現在のチャンネル設定は消去されます。

「リカバリディスク」を実行する

1 本製品の電源を切ります。

■インスタント MyMedia を使用している場合

インスタント MyMedia のメインメニューから「電源オフ」を選択して決定ボタンを押し、インスタント MyMedia を終了します。

「インスタント MyMedia を終了する」（→P.27）

■パソコンを使用している場合

パソコンの終了方法については、『パソコンの準備』をご覧ください。

2 キーボードの【F12】の位置を確認します。

パソコンの電源を入れた後、すぐこのキーを押せるようにしてください。

3 パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面の下にメッセージが表示されている間に、【F12】を押します。

【F12】を軽く押しただけでは認識されない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。

ここに表示されます。

（画面やメッセージの表示のしかたはお使いの機種により異なります）

しばらくすると、起動メニューが表示されます。

重要

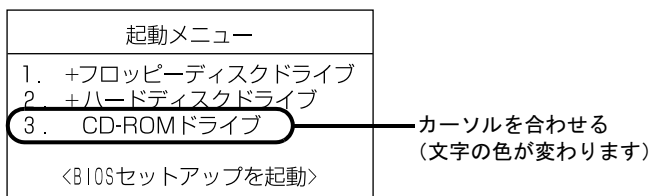
起動メニューが表示されないときは

【F12】を押すタイミングが合わないと、Windows が起動してしまいます。パソコンの電源を切り、手順 1 からやり直してください。

4 「リカバリディスク」をセットします。

認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

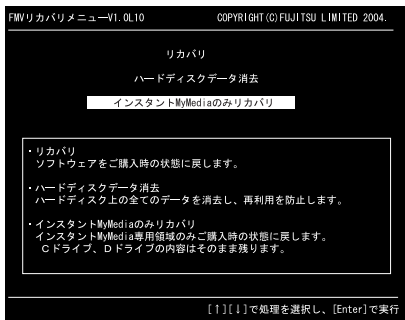
5 【↓】を押して「CD／DVD」や「CD-ROMドライブ」などを選択し、【Enter】を押します。

下記の画面例は、お使いの機種により異なります。

しばらくすると、「リカバリメニュー」が表示されます。

重要

リカバリメニューが表示されないときは

ディスクを取り出し、ディスクが間違っていないか確認してください。
確認後、【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押し、パソコンを再起動してください。
その後、「「リカバリディスク」を実行する」手順3（→P.88）からやり直してください。

6 【↓】を押して「インスタントMyMediaのみリカバリ」を選択し、【Enter】を押します。

重要

「リカバリ」または「ハードディスクデータ消去」を選択すると、パソコンに保存されたデータなどが失われてしまいます。誤ってこれらを選択した場合には、続く画面で【N】を押してリカバリを中断してください。

7 **画面の指示に従って「リカバリディスク」を取り出し、「インスタント MyMedia リカバリディスク」をセットして 【Y】 を押します。**

画面の下に「復元しています...」と表示され、ファイルのコピーが始まります。
そのまましばらくお待ちください。

8 **「復元作業が正常に終了しました。」と表示されたら、「インスタント MyMedia リカバリディスク」を取り出して【Y】を押します。**

パソコンが起動します。

POINT

「アプリケーションディスク1」をセットするよう表示されますが、インスタントMyMediaのみのリカバリには必要ありません。ディスクをセットせずに【Y】を押してください。

9 **パソコンを終了します。**

パソコンの終了方法については、『パソコンの準備』の「第３章　パソコンを準備する」→「電源の切り方と入れ方」をご覧ください。

以上でインスタント MyMedia のリカバリは完了です。「セットアップを行う」（▶ P.21）をご覧になり、セットアップを行なってください。

第 8 章

付録

日常のお手入れ

⚠警告

・感電やけがの原因となりますので、お手入れの前に次の事項を必ず行なってください。
パソコン本体の電源を切り、AC アダプタとバッテリを取り外してください。
プリンタなど、周辺機器の電源を切り、パソコン本体から取り外してください。

■画面の清掃

メガネ拭きなどの柔らかい布で拭いてください。

重要

・液晶ディスプレイの表面を固いものでこすったり、強く押し付けたりしないでください。液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。
・液晶ディスプレイを拭くときは、必ずから拭きしてください。水や中性洗剤を使うと、液晶部分を傷めるおそれがあります。
・市販のクリーナーを使うと、成分によっては、画面の表面のコーティングを痛めるおそれがあります。次の成分を含んだものは使わないでください。
  ・アルカリ性成分を含んだもの
  ・界面活性剤を含んだもの
  ・アルコール成分を含んだもの
  ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
  ・研磨材を含むもの
  ・化学ぞうきん

■画面以外の清掃

重要

リモコンのお手入れを行なうときは、あらかじめ乾電池を取り出してください。

本体やリモコンの汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を、固く絞って拭き取ってください。中性洗剤を使用した場合は、その後水に浸した布を固く絞って中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取りの際は、パソコン本体やキーボード、リモコンの内部に水が入らないよう充分に注意してください。なお、シンナーやベンジンなど揮発性の強いものや、化学ぞうきんは絶対に使わないでください。
吸気孔や排気孔はほこりがつきやすいので、定期的にほこりを取り除いてください。
キーボードのキーとキーの間のホコリなどを取る場合は、圧縮空気などをつかって吹き飛ばしてください。掃除機などは使用しないでください。

仕様

ディスプレイ		17 型ワイド（NX シリーズ）／ 15 形（NB シリーズ）
サウンド機能		ステレオスピーカ内蔵
リモコン注 2		赤外線方式（受光部は装置本体に内蔵）
テレビチューナー注 1		VHF 1 ～ 12ch、UHF 13 ～ 62ch、CATV 13ch ～ 63ch （ステレオ、音声多重対応）
インターフェース	ヘッドホン	Φ3.5mm ステレオ・ミニジャック （出力 1mW 以上、負荷インピーダンス 32 Ω）
	アンテナ入力	ミニジャック（標準添付の RF 変換ケーブルを使用）
	ビデオ入力	Sビデオ×1、コンポジット×1
	ビデオ音声入力	L/R（RCA） × 各 1
	状態表示	LED

注 1：BS/CS 放送のチャンネルは受信できません。
注 2：主な仕様は以下の通りです。

通信方式	赤外線
使用可能距離	約 3m
乾電池の寿命の目安	約 6ヶ月（マンガン乾電池使用時）
使用可能範囲	上：約 30 度、下：約 30 度、左：約 30 度、右：約 30 度 （リモコン受光部に対して）
使用電池	単 3 形乾電池（2 本）

FMV-BIBLO
インスタント MyMedia
取扱説明書

B6FH-2831-01-00

発 行 日　2004 年 9 月
発行責任　富士通株式会社

Printed in Japan